

ならしの消防

消防年報

(令和5年版)



「消防技術研修会」

奈良市消防局

(令和6年刊行)

は じ め に

奈良市消防局は、消防行政の実態を紹介するために昭和56年から毎年消防年報を刊行しています。

創刊以来、日々社会経済情勢は変化しており、本市の消防行政もそれに対応すべくソフト、ハード両面にわたって刷新しつづけています。

この年報では、新しく変わりつつある奈良市消防の現在のすがたをわかりやすく紹介するため業務内容、火災・救急統計等を系統別に収録し分析しています。

なお、この年報において、何年中とあるのは暦年間（1月1日から12月31日）、何年度とあるのは会計年度（4月1日から3月31日）をいい、原則として、予算関係は会計年度、それ以外のものについては、令和6年4月1日現在の現況及び暦年で取りまとめました。

今後における消防行政推進の資料としてご活用いただければ幸いです。

奈良市消防局

目 次

消防情勢	1
1 奈良市の概要	2
2 奈良市消防の沿革	4
3 消防機関配置図	10
(1) 局、署所配置図	10
(2) 消防施設	11
総務関係	13
4 奈良市消防局の組織	14
5 事務分掌	15
6 消防予算	19
(1) 一般会計予算額と消防費との比較	19
(2) 消防費予算の一般会計に対する比率の推移	19
(3) 消防予算の内訳及び前年度との比較(当初予算)	20
(4) 消防費に対する人口・世帯当たりの額	20
(5) 消防費性質別予算額	20
7 職員の階級別配置状況	21
8 職員の階級別勤続年数調べ	22
9 職員の階級別年令調べ	23
10 職員の研修状況	24
11 奈良市消防音楽隊の概要	25
(1) 音楽隊の編成	25
(2) 音楽隊員の階級別年令調べ	25
(3) 楽器保有数	25
警防関係	26
12 警防概要	27
13 警防概況	28
14 署別警防出動状況	29
15 月別警防出動状況	30
16 消防車両等の配備状況	31
17 消防水利状況	32
(1) 消火栓	32
(2) 防火水槽	32
(3) その他の水利	32
通信関係	33
18 通信施設	34

(1) 基地局	34
(2) 無線電話の現状	35
(3) 有線電話	36
(4) 119番着信件数	37
(5) 119番通報種別割合	38
(6) テレフォンガイド利用数	38
(7) 月別気象状況(消防局)	39
(8) 月別気象状況(東消防署)	40

救急関係 41

19 救急概要	42
20 救急資器材	43
21 救急概況(前年との比較)	44
22 署別救急出場状況	45
23 署別救急出場件数	46
24 月別救急出場状況	47
25 時間別救急出場状況	48
26 傷病程度別搬送人員	49
27 救急隊員の行った応急処置回数	50
28 救急救命士による特定行為実施状況	51
29 急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員調	51
30 過去5ヵ年の事故別救急出場状況	52
31 応急手当講習実施状況	53

救助関係 54

32 救助概要	55
33 高度救助用資機材	56
34 救助資機材	57
35 救助概況(前年との比較)	58
36 署別救助出動状況	59
37 月別救助出動状況	60
38 発生場所別救助出動状況	61

予防関係 62

39 防火対象物一覧	63
40 用途別中高層建築物状況	65
41 消防同意処理状況	67
42 過去5ヵ年の建築同意処理件数状況	67
43 消防法及び火災予防条例に基づく各種届出状況	68
44 類別、数量別危険物施設数	70
45 危険物施設数及び各種許認可処理状況	71
46 奈良市所在の指定文化財等	72
47 火災予防広報等活動状況	73

48 女性防災クラブ・幼年消防クラブの現状	74
(1) 女性防災クラブ	74
(2) 幼年消防クラブ	75
(3) 奈良市ジュニア防災クラブ	75

火災統計 76

49 火災概要	76
50 火災概況(前年との比較)	77
51 署別火災概況	78
52 過去5ヵ年の火災状況	79
53 校区别火災状況	80
54 気象別火災状況	81
(1) 風速別	81
(2) 湿度別	81
55 覚知方法別火災状況	81
56 曜日別火災状況	81
57 覚知時間別火災状況	82
58 月別火災状況	83
59 用途別・原因別火災状況	84

消防団関係 85

60 奈良市消防団の組織	86
61 消防団員の階級別定員数	88
62 消防団員の新任状況	89
63 消防団員の退職状況	89
64 在職年数別消防団員数	90
65 消防団員の職業状況	90
66 消防団員の表彰状況	91
67 消防団員の出動状況	91
68 消防団機械器具等配備状況	92
69 消防団員の報酬	93

※ 表中の数値が「0」の場合（合計欄の「0」は表記あり）は空白としています。

消 防 情 勢



「全職員研修」

1 奈良市の概要

奈良市は、大和青垣国定公園、奈良公園、矢田自然公園など美しい自然のなかに位置し、特に特別天然記念物に指定されている春日山原始林をはじめとする緑の環境に恵まれています。

明治31年2月市制施行当初、市域面積23,44K㎡、人口3万人足らずでしたが、大正12年4月添上郡佐保村の編入をはじめとし、6回にわたり町村が編入されました。また、平成の合併では平成17年4月1日に月ヶ瀬村と都祁村が編入し新しい奈良市がスタートしました。

現在、市域面積は276,94k㎡に拡大され、人口も35万人近くになります。

その間、昭和25年には国際文化観光都市を宣言し、昭和41年には正倉院周辺春日奥山に古都保存法が適用され、歴史都市として個性ある街づくりをしています。

千三百年近くを生きる木造建築物など、奈良のまちには、世界遺産「古都奈良の文化財」をはじめ、数多くの歴史的遺産があります。これらは、先人たちが学術・芸術・技術の粋を集めて創り上げ、平城京で花開いた人類共有の貴重な宝です。

こうした美しく豊かな自然と、今日まで先人たちが守り伝えてくれた文化財の防火をはじめ、多様化した市民のニーズに十分応えうる都市基盤や社会資本の充実、そして災害に強いまちづくりの建設、またそれにふさわしい行政の施策展開のための体制づくりが急務となっており、いにしえに学んだ知恵を活かしながら、国際都市として、また近畿圏における中枢都市としてさらなる発展を続けています。

人口・世帯数の推移

年 別 (年)	面積 (K㎡)	世帯数	1世帯当 たり平均 世帯人員	人 口			人口密度 (k㎡当たり)	摘 要
				男	女	計		
大正9	23.44	8,737	4.61	20,270	20,031	40,301	1,719	国勢調査10月1日
14	29.92	10,369	4.71	25,033	23,846	48,879	1,634	〃
昭和5	29.92	11,336	4.66	26,195	26,589	52,784	1,764	〃
10	29.92	11,840	4.73	27,594	28,374	55,968	1,871	〃
15	29.80	12,332	4.64	27,477	29,796	57,273	1,922	〃
20	39.52	16,430	4.25	31,417	38,398	69,815	1,767	人口調査11月1日
22	39.52	17,708	4.65	42,512	39,887	82,399	2,085	臨時国勢調査10月1日
25	39.52	17,487	4.45	38,097	39,769	77,866	1,970	国勢調査10月1日
30	121.22	25,552	4.53	55,322	60,352	115,674	954	〃
35	210.33	31,026	4.34	65,548	69,029	134,577	640	〃
40	211.91	40,738	3.94	77,865	82,776	160,641	758	〃
45	211.91	57,111	3.65	100,561	107,705	208,266	983	〃
50	211.91	73,651	3.50	124,773	132,765	257,538	1,215	〃
55	211.91	90,821	3.28	144,250	153,703	297,953	1,406	〃
60	211.91	100,798	3.25	157,989	169,713	327,702	1,546	〃
平成2	211.61	112,990	3.09	167,310	182,039	349,349	1,651	〃
7	211.60	123,718	2.90	171,926	187,292	359,218	1,698	〃
12	211.60	133,774	2.74	173,652	192,533	366,185	1,731	〃
16	211.60	143,052	2.56	174,539	191,756	366,295	1,731	4月1日 現 在
17	276.84	140,462	2.63	174,469	195,633	370,102	1,336	〃
18	276.84	147,888	2.51	176,769	195,141	371,910	1,343	〃
19	276.84	149,230	2.49	176,021	194,831	370,852	1,340	〃
20	276.84	150,626	2.45	175,194	194,514	369,708	1,335	〃
21	276.84	151,965	2.43	174,334	194,258	368,592	1,331	〃
22	276.84	153,361	2.40	173,981	194,116	368,097	1,330	〃
23	276.84	154,902	2.37	173,632	194,085	367,717	1,328	〃
24	276.84	155,968	2.35	172,881	193,548	366,429	1,324	〃
25	276.84	156,045	2.34	172,026	192,810	364,836	1,318	〃
26	276.84	157,276	2.32	171,773	192,553	364,326	1,316	〃
27	276.94	158,268	2.29	170,927	192,124	363,051	1,311	〃
28	276.94	159,297	2.27	170,012	191,411	361,423	1,305	〃
29	276.94	160,242	2.24	169,045	190,621	359,666	1,299	〃
30	276.94	161,392	2.22	168,225	189,930	358,155	1,293	〃

年 別 (年)	面積 (K ㎡)	世帯数	1 世帯当 たり平均 世帯人員	人 口			人口密度 (km ² 当たり)	摘 要
				男	女	計		
31/令和 1	276.94	162,380	2.19	167,210	189,142	356,352	1,287	4 月 1 日 現 在
令和 2	276.94	163,991	2.17	166,714	188,815	355,529	1,284	〃
令和 3	276.94	165,360	2.14	166,035	188,252	354,287	1,279	〃
令和 4	276.94	165,784	2.13	165,318	187,840	353,158	1,275	〃
令和 5	276.94	166,927	2.10	163,760	186,558	350,318	12,65	〃
令和 6	276.94	167,787	2.08	162,659	185,626	348,285	12,58	〃

注) 平成 26 年 10 月 1 日 国土地理院より市域面積の新数値が公表される。



「奈良公園の鹿の親子」

2 奈良市消防の沿革（平成元年以降、明治～昭和については奈良市消防沿革史にて保管）

平成	元年	4月	第六代消防長に森井堯運氏就任 警防課に特別消防救助隊を設置
		8月	法蓮町926番地の4に東消防署佐保出張所を移転
	1	1月	秋の火災予防運動初日（11月9日）に三条通りを初の防火パレード実施
	1	2月	防災指導車購入
2年	4月		消防職員定数 260名
	9月		中消防署西大寺出張所改築工事のため、二条町二丁目80番地の3に仮出張所を設置 第1回救急展を奈良そごうにおいて実施
3年	3月		50m級梯子車購入
	4月		消防職員定数 270名
	7月		患者等搬送事業乗務員講習会実施
4年	1月		中消防署西大寺出張所改築完成
	4月		消防職員定数 288名 右京二丁目1番地の1に中消防署北出張所新設、同所に35m級梯子車配備 東消防署佐保出張所に救急車配備
	5月		第1回救急救命士国家試験合格 1名
	6月		学園前保育園幼年消防クラブ発足 50名
	1	1月	第2回救急救命士国家試験合格 1名
5年	3月		日本損害保険協会より救急普及啓発広報車の寄贈
	4月		消防職員定数 302名 高規格救急車（1台）購入 救急救命士の業務開始
	6月		みずほ保育園幼年消防クラブ発足 30名
	1	0月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（CD-1）の寄贈
6年	4月		消防職員定数 317名 応急手当普及啓発活動の開始 第5回救急救命士国家試験合格 1名
7年	1月		阪神大震災が発生し応援要請を受け職員を派遣
	4月		第七代消防長に古田育宏氏就任 第7回救急救命士国家試験合格 1名 消防職員定数 344名
	7月		財団法人奈良市防災センター設立 初代理事長に森井堯運氏就任
	8月		奈良市防災センター（消防本部同一敷地内）運用開始
8年	3月		通信指令室を奈良市防災センター3階に移転し奈良市消防通信指令総合システム運用開始 災害対応特殊救急車（1台購入） 東消防署に配備 警防課に後方支援車を配備
	4月		第八代消防長に林茂樹氏就任 大柳生町1232番地に東消防署東部出張所新設 6出張所の所長に消防司令を配置 通信指令室に管理係を設置 第9回救急救命士国家試験合格 2名 消防職員定数 344名
	5月		県下の消防本部を設置している市町村相互間において、奈良県消防広域相互応援協定締結
9年	2月		特別表彰「まとい」受章
	4月		消防職員定数 354名 消防署の主幹を廃止し、副署長を置く。
	4月		第11回救急救命士国家試験合格 1名 東大阪市、生駒市及び奈良市は、第二阪奈有料道路における消防相互応援協定を締結
	5月		情報収集用二輪車（オフロードバイク）3台購入

10年	2月	市政100周年を迎える。
	3月	ならまち消防ポンプ収納庫設置（飛鳥小学校）
	4月	消防長事務取扱に桐木弘助役就任 奈良市消防本部を奈良市消防局に名称変更 中消防署北出張所を北消防署に昇格 警防課特別消防救助隊を救急救助課に改組 通信指令室を指令課に名称変更 文化財防災官1名（消防司令長）を設置 第13回救急救命士国家試験合格 1名 奈良県防災ヘリコプター導入に伴い隊長（司令長級）1名派遣
	7月	第四代消防団長に辰巳道憲氏就任
10月		愛の園保育園幼年消防クラブ発足 10名 中登美保育園幼年消防クラブ発足 37名
11月		第14回救急救命士国家試験合格 1名
12月		「古都奈良の文化財」8資産群がユネスコの世界遺産に登録
11年	3月	第九代消防長に松田久雄氏就任 西消防署に高規格救急車を配備 防災ヘリコプター運用に伴い、奈良県（防災航空隊）と奈良県防災ヘリコプター応援協定を締結
	4月	消防局に理事を置く。 指令課を三部制にし、指令第三係を新設 世界遺産登録社寺（6社寺）に小型動力ポンプを配備 6台 第15回救急救命士国家試験合格 3名
12年	4月	消防局に職員課及び職員厚生係を新設し、消防総務部（総務課、職員課）と生活安全部（警防課、救急救助課、予防課、指令課）に改組 東消防署佐保出張所を北消防署佐保出張所に変更
	5月	第17回救急救命士国家試験合格 1名
11月		第18回救急救命士国家試験合格 1名
13年	4月	4出張所（南部、東部、西大寺、佐保）を分署に名称変更し南部分署に救急隊を配置 東・中消防署に特別救助隊各1隊配置 国際消防救助隊に隊員8名が登録 第4回全国消防音楽隊フェスティバル参加（神戸市）
	5月	第19回救急救命士国家試験合格 1名
11月		高所救助放水車購入
14年	4月	奈良市が中核市に移行 第21回救急救命士国家試験合格 2名
11月		消防音楽隊が発足15周年記念「市民ふれあいコンサート」を開催
15年	4月	第十代消防長に佐賀勝彦氏就任 第23回救急救命士国家試験合格 2名 計19名
15年	5月	第24回救急救命士国家試験合格 1名 計20名
16年	4月	第25回救急救命士国家試験合格 1名 計21名
	7月	平成16年7月福井豪雨に伴い、緊急消防援助隊奈良県大隊として奈良市消防局から11名が福井県福井市及び足羽郡美山町（現福井市美山町）へ出動
10月		第26回救急救命士国家試験合格 1名 計22名 第5回全国消防音楽隊フェスティバル参加（浜松市）
12月		消防職員定数394人
17年	2月	東消防署に高規格救急車を配備
	3月	西消防署に30m級梯子付消防自動車を配備
	4月	奈良市・都祁村・月ヶ瀬村が合併 東消防署を中央消防署に、中消防署を南消防署に変更 山辺広域行政事務組合消防本部より引継いだ都祁消防署を東消防署に、山辺広域行政事務組合消防本部より引継いだ月ヶ瀬分遣所を東消防署月ヶ瀬分署として運用開始

		北消防署佐保分署を中央消防署佐保分署に、中消防署西大寺分署を南消防署西大寺分署に変更（消防体制：5消防署5分署1出張所）
		第五代消防団長に窪田康男氏就任
		第27回救急救命士国家試験合格 1名 計23名
18年	8月	奈良県遊技業協同組合より指令車（1台）寄贈され、中央消防署に配備
	3月	高規格救急車（1台）購入 中央消防署に配備
		奈良市消防通信指令システムが更新され運用開始
		中央消防署新庁舎（奈良市西木辻町）が完成し運用開始
	4月	専任女性救急隊員2名（隔日勤務）を中央消防署に配置
		第28回救急救命士国家試験合格 2名 計25名
	5月	第29回救急救命士国家試験合格 3名 計28名
	6月	奈良県遊技業協同組合より指令車（1台）寄贈され、警防課に配備
19年	4月	第十一代消防長に猪岡秀夫氏就任
		第六代消防団長に黒文雄氏就任
		専任女性救急隊員1名（隔日勤務）を南消防署に配置
	5月	第30回救急救命士国家試験合格 3名 計31名
20年	4月	消防職員定数394人
		部制（消防総務部、生活安全部）を廃止し災害対策室を設置する。
		局及び署を担当する次長を置く。
		職員課を廃止
		総務課においてグループ制を導入
		警防課を消防課に名称変更し、消防係と防災係を統合し消防防災係に、機械係を施設係に変更
		予防課において予防係と査察係を統合し予防査察係に、建築係と危険物係を統合し指導係に変更
		消防署において警防係を消防救急係に、救急救助係を救助係に、分署において警防救急係を消防救急係に、出張所において警防係を消防係に変更
		総務省消防庁へ職員1名派遣
		奈良市消防音楽隊に副隊長を置く。
	5月	第31回救急救命士国家試験合格 3名 計34名
21年	3月	消防音楽隊に演奏活動用新型バスが配備
	4月	消防職員定数394人
		救急救助課を救急課に名称変更し、救急係及び救助係を廃止し、救急管理係、救急指導係を置く。消防課に救助係を置く。
		中央消防署及び西消防署に3部制の救急隊を置く。
		奈良市消防団に初の女性消防分団（広報指導分団39名）が発足
	5月	第32回救急救命士国家試験合格 3名 計37名
	7月	奈良県遊技業協同組合より救急車（1台）寄贈され、西大寺分署に配備
22年	2月	東消防署月ヶ瀬分署にCD-I型消防ポンプ自動車を配備
	3月	南消防署に救助工作車Ⅲ型を配備
	4月	第十二代消防長に野口隆身氏就任
		消防職員定数412人
		消防局に救急業務及び指令管制業務を統括する情報救急室を新設し、情報救急室（救急課、指令課）と災害対策室（消防課、予防課）に改組
		消防局全課にグループ制（担当制）を導入
		次長（消防局、消防署担当）を廃止し、副局長、消防危機統制監を置く。
		総務省消防庁へ職員1名派遣
		消防課に指揮救助隊を置く。
		南消防署に高度救助隊を配置
		西消防署富雄出張所を西消防署富雄分署に変更し救急隊を配置
		中央消防署及び西消防署の救急隊を2部制に変更
		西消防署富雄分署に高規格救急車を配備
	5月	第33回救急救命士国家試験合格 4名 計41名

	6月	中央消防署に災害対応特殊救急車を配備
	7月	第16回全国女性消防団員活性化奈良大会を開催
10月		第6回全国消防音楽隊フェスティバルを開催（全国より21隊出演） 市立奈良病院にドクターカーを配備し運用を開始（週3日）
11月		第22回全国消防操法大会（愛知県蒲郡市）に奈良市消防団柳生分団が出場
23年	2月	東消防署東部分署にCD-I型消防ポンプ自動車に配備 東消防署に救助工作車I型を配備
	3月	消防団LIVE2011 in奈良を開催 東北地方太平洋沖地震が発生し、緊急消防援助隊奈良県隊（第三次隊まで派遣）として奈良市消防局から62名が宮城県亘理郡山元町へ出動
	4月	消防職員定数412人 消防課指揮救助隊のかいに指揮支援隊を置く。 消防署組織の係制を廃止し、担当及び小隊制を導入するとともに、複数小隊を管理する中隊長を置く。 東消防署に高規格救急車を配備 日本消防協会へ職員1名派遣 ドクターカーの運用を週3日から週4日に変更
	5月	全国共済農業協同組合連合会奈良県本部より高規格救急車（1台）寄贈され西消防署に配備 第34回救急救命士国家試験合格 3名 計44名
24年	4月	第十三代消防長に徳岡泰博氏就任 消防職員定数412人 （財）奈良市防災センターが解散し、総務課のかいに防災センターを置く ドクターカーの運用を週4日から週5日に変更 総務省消防庁へ職員1名派遣 第35回救急救命士国家試験合格 3名 計46名
	5月	消防課に指揮支援車を配備
	9月	総務省消防庁より燃料補給車配備（緊急消防援助隊活動用車両として無償使用）
11月		奈良市消防局、相楽中部消防組合消防本部で初の「合同消防フェア」を開催
25年	3月	第1回奈良市消防団活性化大会を開催し県下で初めて消防団協力事業所を認定 総務省消防庁より支援車I型配備（緊急消防援助隊活動用車両として無償使用）
	4月	消防職員定数412人 第七代消防団長に川寄政信氏就任 第36回救急救命士国家試験合格 3名 計49名 総務省消防庁より可搬型衛星基地局配備（緊急消防援助隊活動用車両として無償使用）
	9月	西消防署新庁舎が完成（鶴舞西町）し運用開始
11月		消防団120周年・自治体消防65周年記念奈良県消防大会
12月		日本消防協会より防災活動車配備
26年	3月	総務省消防庁より救助資機材搭載型消防ポンプ自動車及び資機材保管備蓄倉庫一式配備 第2回奈良市消防団活性化大会を開催 南消防署に20m級屈折はしご付消防車を配備
	4月	第十四代消防長に酒井孝師氏就任 消防職員定数412人 ドクターカーの運用を週5日から週6日に変更 第37回救急救命士国家試験合格 3名 計58名（新規採用者含む） 総務省消防庁へ職員1名派遣
	5月	救急隊による搬送先病院、直接交渉開始
	8月	「消防団を中核とした地域防災力充実強化大会」に参加
10月		女性防災クラブ30周年記念式典をならまちセンターで開催
27年	2月	第3回奈良市消防団活性化大会「消防団とDMAT・DPAT合同訓練」を実施
	4月	消防職員定数412人 第38回救急救命士国家試験合格 4名 計62名（新規採用者含む）
12月		災害対応特殊化学消防ポンプ自動車II型を購入し中央消防署に配備

28年	2月	第4回奈良市消防団活性化大会「消防団とDMAT・DPAT合同訓練」を実施
	3月	西消防署に救助工作車Ⅱ型を配備
	4月	消防職員定数412人（実員数385人） 消防局組織改編を実施し当直勤務者のシフトを2部制から3部制に変更 奈良市生駒市消防指令センター共同運用開始 総務省消防庁へ職員1名派遣 第39回救急救命士国家試験合格 5名 計65名
	10月	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練を奈良県で開催
	12月	消防本部における女性消防吏員の活躍推進に向けた積極的広報として「ワンデイインターンシップ京都会場」にブース初出展
29年	2月	第5回奈良市消防団活性化大会「奈良市消防団を中核とした地域防災力強化訓練」を開催 南消防署に高規格救急車を配備
	3月	消防庁長官竿頭授受賞 第7回全国消防音楽隊フェスティバル参加（豊中市）
	4月	第十五代消防長に藤村正弘氏就任 消防職員定数412人（実員数378人） 第40回救急救命士国家試験合格 3名 計70名（新規採用者含む）
	11月	西消防署富雄分署に高規格救急車を配備
	30年	2月 第6回奈良市消防団活性化大会「～守ろう我が町、我が地域～」を開催 中央消防署南部分署にCD-I型消防ポンプ自動車を配備
30年	4月	消防職員定数412人（実員数374人） 総務省消防庁へ職員1名派遣 第41回救急救命士国家試験合格 3名 計74名（新規採用者含む） 月ヶ瀬分署に救急救命士を配置し5署6分署すべてに救急救命士を配置
	7月	平成30年7月豪雨に伴い、緊急消防援助隊奈良県大隊（第三次隊まで派遣）として奈良市消防局から60名が岡山県倉敷市真備町へ出動
	11月	全国初の取組みとして「市民メディカルラリー」2018を第7回奈良市消防団活性化大会と併せてイオンモール高の原にて開催
	31年	1月 中央消防署に高規格救急車を配備
	2月	中央消防署佐保分署に災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-I型）を配備
31年	3月	西消防署に災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車（I-B型）を配備
	4月	第十六代消防長に西岡光治氏就任 消防職員定数412人（実員数375人） 第八代消防団長に中室貞浩氏就任 第42回救急救命士国家試験合格 3名 計82名（新規採用者含む）
	令和 元年	7月 相楽中部消防組合とはしご付消防自動車の共同運用連携協約を締結
	11月	奈良市ジュニア防災クラブ結成
	2年	2月 西消防署に災害対応特殊救急自動車を配備 第8回奈良市消防団活性化大会「令和元年度消防団長会北和ブロック訓練」を布目ダムにて開催
32年	3月	中央消防署南部分署に高規格救急自動車を配備
	4月	消防職員定数412人（実員数384人） 総務省消防庁へ職員1名派遣 第43回救急救命士国家試験合格 3名 計83名（新規採用者含む） 奈良市消防団に初の機能別分団（学生消防分団15名）として発足
	11月	相楽中部消防組合とはしご付消防自動車の共同運用開始
	3年	3月 総務省消防庁より中型水陸両用車及び搬送車配備（緊急消防援助隊活動用車両として無償使用） 中央消防署佐保分署に高規格救急車を配備
	4月	第十七代消防長に東川洋志氏就任 消防職員定数412人（実員数388人） 第44回救急救命士国家試験合格 2名 計84名（新規採用者含む）
33年	6月	仮想体験付起震コンテナ（愛称「Bousai キャラバン号」）運用開始

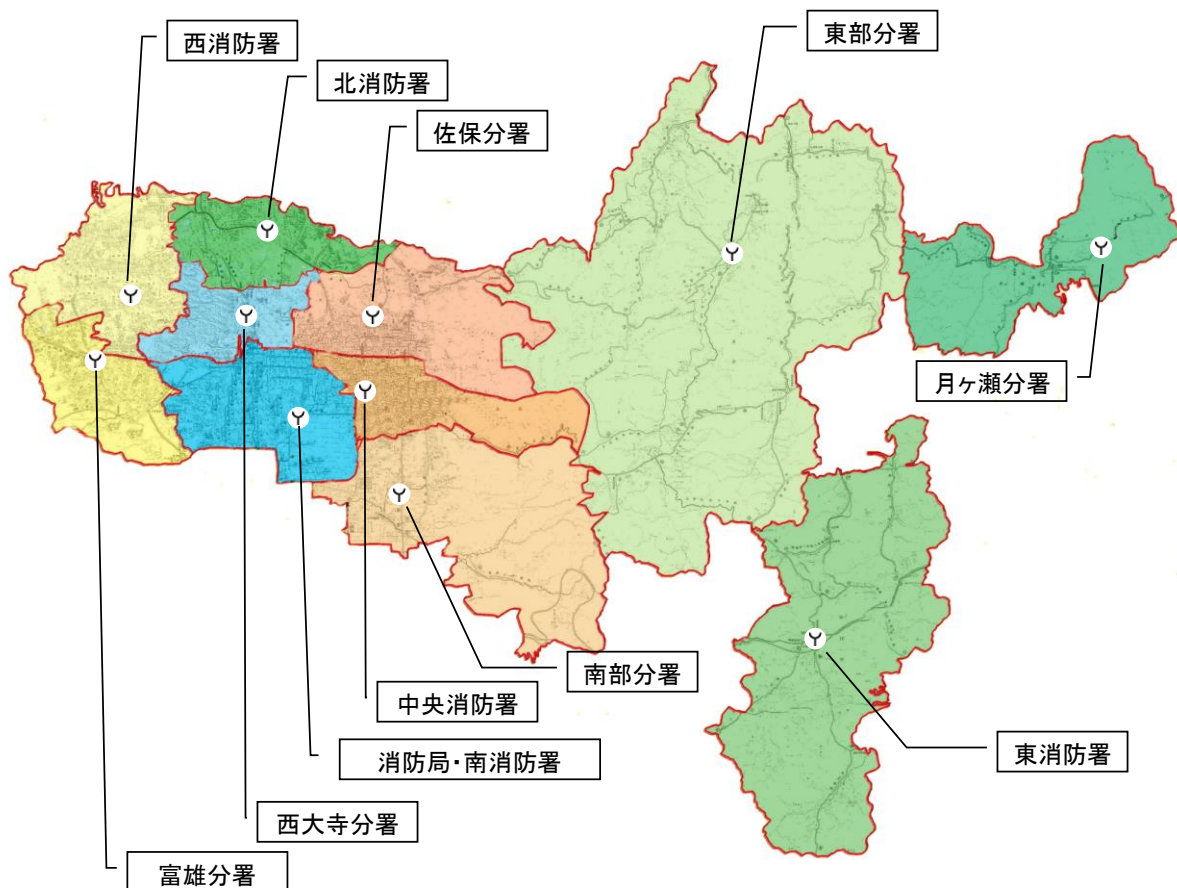
- 1 2月 南消防署西大寺分署に高規格救急車を配備
- 4 年 3月 南消防署に災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を配備
- 4 月 消防職員定数412人（実員数393人）
文部科学省文化庁へ職員1名派遣
総務省消防庁へ職員1名派遣（女性職員）
第45回救急救命士国家試験合格 3名 計90名（新規採用者含む）
- 1 1月 地域防災力充実強化大会 in 奈良 2022 を開催
- 5 年 2月 北消防署に災害対応特殊救急自動車を配備
- 3 月 西消防署に災害対応特殊消防ポンプ自動車を配備
総務省消防庁より防災学習車配備
- 4 月 第十八代消防長に北昌男氏就任
消防職員定数412人（実員数387人）
第46回救急救命士国家試験合格 6名 計95名（新規採用者含む）
南消防署に日勤救急小隊を配置
奈良市防災センターを廃止し、奈良市消防局第2庁舎へ名称変更
奈良市消防団に機能別分団（地域支援消防分団19名）を発足
奈良市消防団に情報収集部隊を置く
- 1 2月 中央消防署、南消防署、西消防署富雄分署、東消防署に高規格救急車を配備
- 6 年 1月 能登半島地震が発生し、緊急消防援助隊奈良県大隊（第四次隊まで派遣）として奈良市消防局から85名が
石川県輪島市他へ出動
- 4 月 消防職員定数412人（実員数392人）
第47回救急救命士国家試験合格 4名 計99名（新規採用者含む）
西消防署に日勤救急小隊を配置
文部科学省文化庁へ職員1名派遣
総務省消防庁へ職員1名派遣
南消防署の高度救助隊を廃止し、中央消防署の特別救助隊を高度救助隊に、西消防署の救助隊を特別救助隊
に変更
消防課指揮支援隊を廃止し、消防課本部指揮隊を置く



「新規配備された災害対応高規格救急車」

3 消防機関配置図

(1) 局、署所配置図



市 勢

面 積	276.94 km ²		東西 33.51 km	南北 22.22 km
	東 経		135°48′	
	北 緯		34°41′	
人 口	令和6年		令和5年	前年との比較
	男	162,659人	163,760人	△1,101
	女	185,626人	186,558人	△932
	計	348,285人	350,318人	△2,033
世 帯 数	167,787		166,927	860

(人口・世帯数は各年4月1日現在)

(2) 消防施設



消防局・南消防署併設庁舎



消防局第2庁舎



中央消防署



西消防署



北消防署



東消防署



南消防署西大寺分署



中央消防署南部分署



中央消防署佐保分署



西消防署富雄分署



東消防署東部分署



東消防署月ヶ瀬分署

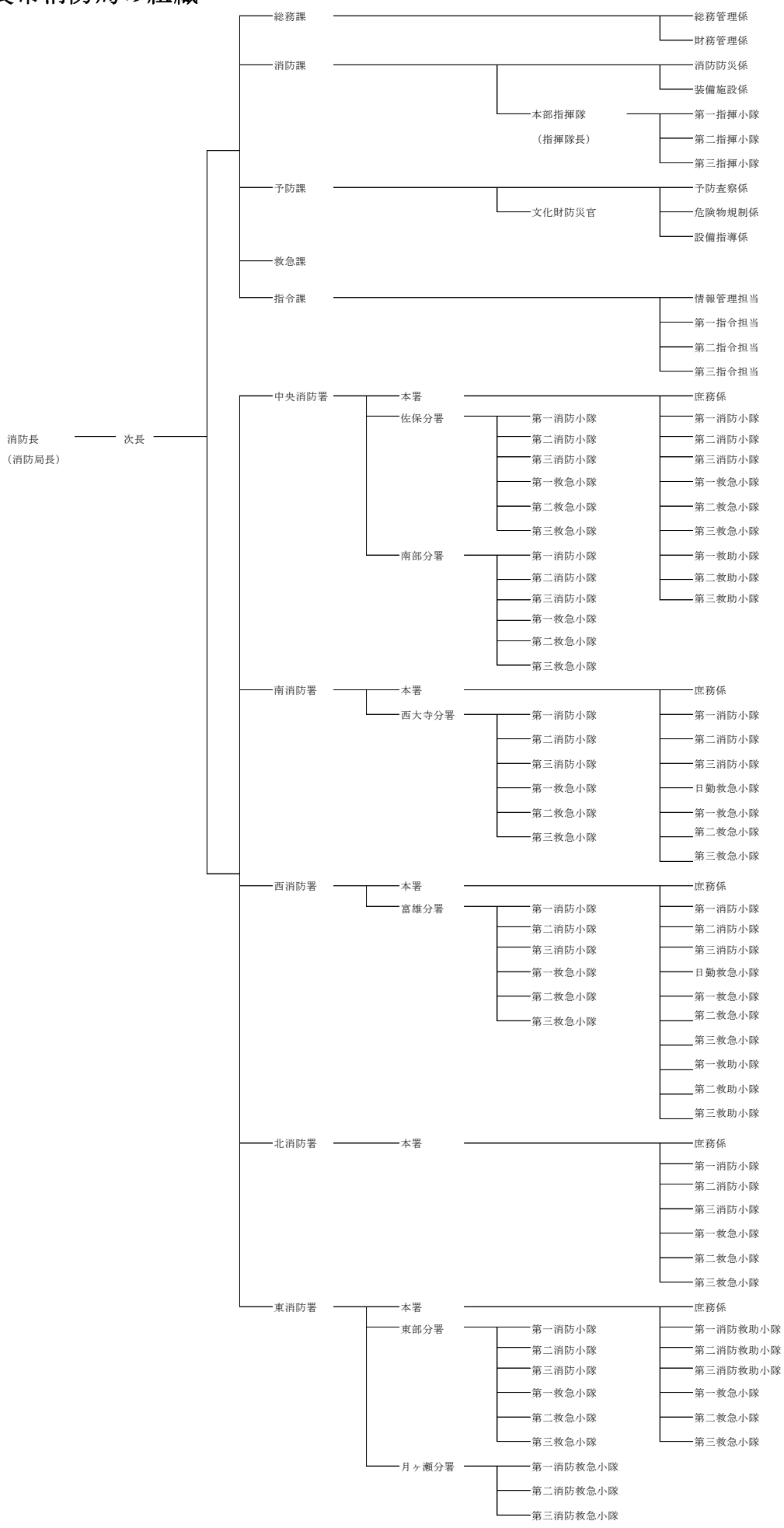
施 設 名	所 在 地	構 造	敷地面積 (㎡)	建物延べ面積 (㎡)	竣工年月日
消防局・南消防署	八条五丁目 404 番地の 1 0742(35)1191(代表)	R C 造 5 階建	6,622.12	2,431.65	昭和 58 年 10 月
消防局第 2 庁舎	同 上	S R C 造 4 階建	消防局 同一敷地	3,021.37	平成 7 年 6 月
南消防署西大寺分署	二条町二丁目 1 番 1 号 0742(33)4605	R C 造 3 階建	454.80	564.33	平成 4 年 1 月
中 央 消 防 署	西木辻町 43 番地の 1 0742(22)7051	R C 造 3 階建	1,333.05	1,405.20	平成 18 年 3 月
中央消防署佐保分署	法蓮町 926 番地の 4 0742(22)7055	R C 造 2 階建	1,471.05	399.75	平成元年 8 月
中央消防署南部分署	横井五丁目 497 番地の 3 0742(61)7025	R C 造 2 階建	1,088.93	500.40	昭和 62 年 4 月
西 消 防 署	鶴舞西町 1 番 19 号 0742(45)7621	R C 造 2 階建	2,144.40	1,185.69	平成 25 年 9 月
西消防署富雄分署	三碓六丁目 10 番 40 号 0742(47)7119	R C 造 2 階建	1,234.99	500.40	昭和 60 年 12 月
北 消 防 署	右京二丁目 1 番地の 1 0742(71)9119	R C 造 2 階建	4,218.19	1,008.87	平成 4 年 3 月
東 消 防 署	針町 647 番地の 1 0743(82)0513	R C 造 2 階建	1,469.95	587.05	昭和 53 年 5 月
東消防署東部分署	大柳生町 1232 番地 0742(93)0119	R C 造 2 階建	1,019.66	492.36	平成 8 年 3 月
東消防署月ヶ瀬分署	月ヶ瀬尾山 3395 番地の 2 0743(92)0945	R C 造 2 階建	559.00	249.09	昭和 57 年 4 月

総務関係



「通常点検」

4 奈良市消防局の組織



5 事務分掌

消 防 局	総務課	1. 公印の管守に関する事。 2. 文書の収発及び保存整理に関する事。 3. 消防長会に関する事。 4. 消防団に関する事。 5. 局の総合企画及び基本施策に関する事。 6. 消防関係条例、規則、規程等の審査及び制定改廃手続に関する事。 7. 消防統計に関する事。 8. 業務改善及び事務能率の増進に関する事。 9. 消防音楽隊に関する事。 10. 消防広報に関する事。 11. 市民の要望及び相談の処理に係る事務の統轄に関する事。 12. 職員の任免、分限、懲戒その他勤務条件に関する事。 13. 職員の配置及び勤務に関する事。 14. 職員の給与、その他の給付の規定、裁定及び支給に関する事。 15. 表彰に関する事。 16. 研修及び研修計画に関する事。 17. 職員の公務災害補償に関する事。 18. 公務による交通事故の処理及び賠償に関する事（消防課の主管に属するものを除く。）。 19. 職員の福利厚生に関する事。 20. 職員の健康及び安全衛生管理に関する事。 21. 職員の服務規律等に関する事。 22. 庁中管理の統轄に関する事。 23. 消防職員委員会に関する事。 24. 予算の編成及び執行並びに決算事務の総括に関する事。 25. 職員の給貸与品に関する事。 26. 他の課の主管に属しない事。 27. 課の庶務に関する事。
	消防課	1. 災害の警備に関する事。 2. 災害対策の連絡及び調整に関する事。 3. 非常警防体制及び特別警戒体制の実施に関する事。 4. 消防相互応援協定に関する事。 5. 地域防災計画及び水防計画に関する事。 6. 都市計画法（昭和43年法律第100号）に基づく開発行為に係る同意に関する事。 7. 消防水利の開発及び保全に関する事。 8. 水防資器材の整備保全に関する事。 9. 防災総合訓練等に関する事。 10. 消防車両等の配置計画に関する事。 11. 消防機械器具の整備及び整備技術の指導に関する事。 12. 特殊な消防機械器具の操作技術の指導に関する事。 13. 消防車両等の燃料に関する事。 14. 消防車両等の登録及び検査等に関する事。 15. 車両管理の総括に関する事。 16. 公務による交通事故の物損処理に関する事。 17. 課の庶務に関する事。
	本部指揮隊	1. 救助対策及び救助活動に関する事。 2. 救助隊の教育訓練及び救助技術に関する事。 3. 救助機械器具の整備保全及び操作技術の指導に関する事。 4. 救助統計に関する事。 5. 救助の警備計画に関する事。 6. 緊急消防援助隊に関する事。 7. 国際消防救助隊に関する事。 8. 災害現場の指揮に関する事。 9. 災害現場の安全管理及び現場指揮体制の調査研究に関する事。 10. 災害現場の情報収集及び現場広報に関する事。 11. 災害の警戒及び防除に関する事。 12. 消防活動技術の研究に関する事。 13. 火災防御検討会に関する事。 14. 警防計画及び訓練に関する事。 15. 隊の庶務に関する事。

消 防 局	予 防 課	1. 火災予防施策の計画立案に関すること。 2. 火災予防の対策及び広報に関すること。 3. 防火管理者資格講習及び指導に関すること。 4. 火災原因及び損害の調査に関すること。 5. 火災警報の発令に関すること。 6. 予防統計に関すること。 7. 女性防災クラブに関すること。 8. 住宅防火に関すること。 9. 住宅用火災警報器の普及促進に関すること。 10. 危険物の許可、認可及び規制に関すること。 11. 指定可燃物その他特殊な物質の防火に関すること。 12. 危険物取扱者等及び危険物施設の管理者の指導に関すること。 13. 液化石油ガスその他の高圧ガスの防火指導に関すること。 14. 危険物の災害予防対策及び調査研究に関すること。 15. 建築物の確認、許可及び認可の同意に関すること。 16. 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。 17. 建築物の防火に関すること。 18. 防火対象物の使用届出等に関すること。 19. 防災規制の指導に関すること。 20. 予防査察の計画、実施及び指導に関すること。 21. 防火対象物の違反処理に関すること。 22. 課の庶務に関すること。
	救 急 課	1. 救急業務の基本計画に関すること。 2. 救急隊の運用に関すること。 3. 救急情報の収集及び救急統計に関すること。 4. 救急医療関係機関等との連絡及び調整に関すること。 5. 救急隊員の感染防止対策及び健康管理に関すること。 6. 救急資機材の配置及び開発に関すること。 7. 救急業務の需要に係る対策に関すること。 8. 救急救命士及び救急隊の教育訓練に関すること。 9. 救急医療及び救急技術の調査研究に関すること。 10. 応急手当の普及啓発活動に関すること。 11. 患者搬送事業に関すること。 12. メディカルコントロール体制（医療機関等との連携により救急業務の質的向上を図る体制をいう。）に関すること。 13. 救急業務の高度化推進に関すること。 14. 救急ワークステーション設置準備に関すること。 15. ドクターカー運用に関すること。 16. 課の庶務に関すること。
	指 令 課	1. 電子計算機器及び入出力媒体の管理に関すること。 2. 電子計算機器処理に係る情報の管理に関すること。 3. 端末機の操作研修及びパスワードの管理に関すること。 4. その他電子計算機器の運用に関すること。 5. 水火災、救急その他の災害の受報及び出動指令に関すること。 6. 通信施設及び器具の運用管理に関すること。 7. 消防隊等の出動の統制的運用に関すること。 8. 水火災、救急その他の災害の現場の通信統制に関すること。 9. 水火災、救急その他の災害の現場の情報収集及び連絡に関すること。 10. 職員の非常招集に関すること。 11. 医療機関等との連絡及び協調に関すること。 12. 通信施設の技術研究及び指導に関すること。 13. 防災気象の通信連絡に関すること。 14. 課の庶務に関すること。

消 防 署	庶務係	- 火災予防の対策及び広報に関すること。 - 査察に関すること。 - 防火対象物の設備及び防火管理者の指導に関すること。 - 消防用設備等の設置の指導及び点検結果報告に関すること。 - 予防統計に関すること。 - 火災その他の災害の調査に関すること。 - 火災原因及び損害の調査に関すること。 - 署の事務の企画調整に関すること。 - 公務による交通事故の処理に関すること。 - 署の庶務に関すること。 - 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。
	消 防 小 隊 (中央・南・西・北消防署)	- 警防計画及び訓練に関すること。 - 火災その他の災害の警戒及び防御に関すること。 - 消防地水利の開発、調査及び保全に関すること。 - 消防の機械器具の整備及び保全に関すること。 - 査察及びその他の防火指導に関すること。 - 所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関すること。 - 自衛消防隊の訓練の指導に関すること。 - 消防相談に関すること。 - 火災その他の災害の調査に関すること。 - 職員の非常招集に関すること。 - 署所の軽微な庁中管理に関すること。 - 公務による交通事故の物損処理に関すること。 - 火災原因及び損害の調査に関すること。 - 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。
	救助小隊 (中央・西消防署)	- 災害現場の安全管理に関すること。 - 救助訓練に関すること。 - 人命の救助及び防火に関すること。 - 救助の機械器具の整備保全に関すること。 - 救助の報告に関すること。 - 緊急消防援助隊の出動に関すること。 - 国際消防救助隊の派遣に関すること。 - 署所の軽微な庁中管理に関すること。 - 公務による交通事故の物損処理に関すること。 - 救助技術に関すること。 - 火災原因及び損害の調査に関すること。 - 火災その他の災害の調査に関すること。 - 査察及びその他の防火指導に関すること。 - 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。
	消防救助小隊 (東消防署)	- 警防計画及び訓練に関すること。 - 火災その他の災害の警戒及び防御に関すること。 - 消防地水利の開発、調査及び保全に関すること。 - 機械器具の整備及び保全に関すること。 - 査察及びその他の防火指導に関すること。 - 所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関すること。 - 自衛消防隊の訓練の指導に関すること。 - 消防相談に関すること。 - 火災その他の災害の調査に関すること。 - 職員の非常招集に関すること。 - 署所の軽微な庁中管理に関すること。 - 公務による交通事故の物損処理に関すること。 - 火災原因及び損害の調査に関すること。 - 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。 - 災害現場の安全管理に関すること。 - 救助訓練に関すること。 - 人命の救助及び防火に関すること。 - 救助の報告に関すること。 - 緊急消防援助隊の出動に関すること。 - 国際消防救助隊の派遣に関すること。 - 救助技術に関すること。
	救急小隊	- 救急の機械器具の整備及び保全に関すること。 - 救急対策及び救急処置に関すること。 - 救急の報告に関すること。 - 救急統計に関すること。 - 公務による交通事故の物損処理に関すること。 - 火災その他の災害の調査に関すること。

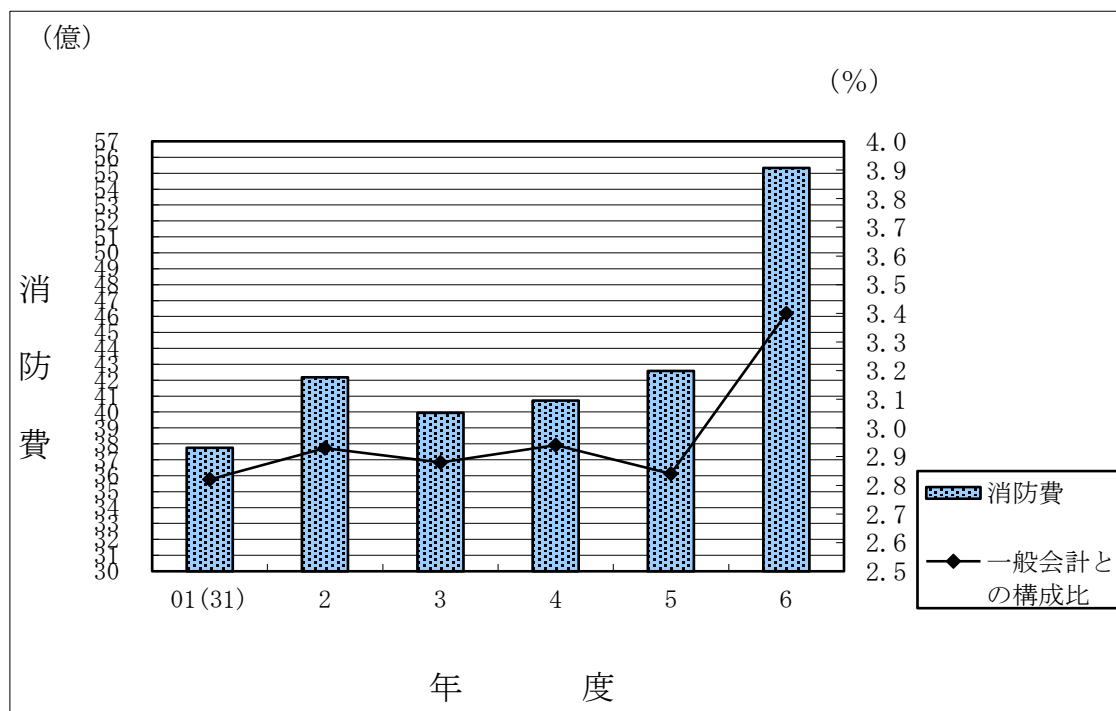
分 署	佐保・南部・西大寺・富雄・東部分署	消防小隊	1. 文書の収発及び保管整理に関する事。 2. 警備計画及び訓練に関する事。 3. 火災その他の災害の警戒及び防御に関する事。 4. 消防水利の調査及び保全に関する事。 5. 査察及びその他の防火指導に関する事。 6. 消防の機械器具の整備及び保全に関する事。 7. 所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関する事。 8. 自衛消防隊の訓練及び指導に関する事。 9. 火災その他の災害の調査に関する事。 10. 消防相談に関する事。 11. 署所の軽微な庁中管理に関する事。 12. 火災原因及び損害の調査に関する事。 13. 公務による交通事故の物損処理に関する事。 14. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関する事。 15. その他管内の消防及び救急業務に関する事。
		救急小隊	1. 文書の収発及び保管整理に関する事。 2. 救急対策及び救急処置に関する事。 3. 救急の機械器具の整備及び保全に関する事。 4. 火災その他の災害の調査に関する事。 5. 消防相談に関する事。 6. 署所の軽微な庁中管理に関する事。 7. 公務による交通事故の物損処理に関する事。 8. 救急統計に関する事。 9. その他管内の救急業務に関する事。
	月ヶ瀬分署	消防救急小隊	1. 文書の収発及び保管整理に関する事。 2. 警備計画及び訓練に関する事。 3. 火災その他の災害の警戒及び防御に関する事。 4. 消防水利の調査及び保全に関する事。 5. 査察及びその他の防火指導に関する事。 6. 救急対策及び救急処置に関する事。 7. 救急及び消防機械器具の整備保全に関する事。 8. 所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関する事。 9. 自衛消防隊の訓練及び指導に関する事。 10. 火災その他の災害の調査に関する事。 11. 消防相談に関する事。 12. 署所の軽微な庁中管理に関する事。 13. 火災原因及び損害の調査に関する事。 14. 公務による交通事故の物損処理に関する事。 15. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関する事。 16. 救急統計に関する事。 17. その他管内の消防及び救急業務に関する事。

6 消防予算

(1) 一般会計予算額と消防費との比較

年度 \ 区分	一般会計 (千円)	消防費 (千円)	構成比 (%)
令和元年度	133,790,000	3,775,472	2.82
令和2年度	144,100,000	4,218,313	2.93
令和3年度	138,840,000	3,995,202	2.88
令和4年度	138,620,000	4,071,146	2.94
令和5年度	149,980,000	4,257,127	2.84
令和6年度	162,950,000	5,533,724	3.40

(2) 消防費予算の一般会計に対する比率の推移



(3) 消防予算の内訳及び前年度との比較（当初予算）

科目 \ 年度		令和 6 年度 (千円)	令和 5 年度 (千円)	比較増減 (千円)
一般会計		162,950,000	149,980,000	12,970,000
消防費		5,533,724	4,257,127	1,276,597
内 訳	常備消防費	3,790,117	3,732,579	57,538
	非常備消防費	158,665	165,088	△6,423
	水防費	106	106	—
	消防施設維持費	4,770	4,770	—
	消防施設費	1,580,066	354,584	1,225,482

(4) 消防費に対する人口・世帯当たり額

年度 \ 区分	消防費 (千円)	人 口 (人)	世帯数 (世帯)	1 人当たり (円)	1 世帯当たり (円)
令和元年度	3,775,472	356,352	162,380	10,595	23,251
令和 2 年度	4,218,313	355,529	163,991	11,865	25,723
令和 3 年度	3,995,202	354,287	165,360	11,277	24,161
令和 4 年度	4,071,146	352,264	165,923	11,557	24,536
令和 5 年度	4,257,127	350,318	166,927	12,152	25,503
令和 6 年度	5,533,724	348,285	167,787	15,888	32,981

(人口及び世帯数は各年度の 4 月 1 日現在)

(5) 消防費性質別予算額

(千円)

科目 \ 年度	令和 6 年度		令和 5 年度		増減	
	額 (A)	割合 (%)	額 (B)	割合 (%)	(A) - (B)	増減比 (%)
消防費	5,533,724	100.0	4,257,127	100.0	1,276,597	30.0
人件費	3,379,221	61.1	3,369,746	79.2	9,475	0.3
維持補修費	4,770	0.1	4,770	0.1	0	0.0
物件費	488,470	8.8	446,220	10.5	42,250	9.5
補助費等	81,197	1.5	81,807	1.9	△610	△0.7
普通建設事業費	1,580,066	28.6	354,584	8.3	1,225,482	345.6

7 職員の階級別配置状況

(令和6年4月1日現在)

区 分 所 属 等			合 計	消 防 局 長	次 長	課 長 主 幹 副署長	補 佐 防災官 主 査 中隊長	係 長 小隊長	係 員			
				消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
合 計			392	1	1	21	52	97	125	1	94	
局	局 長		1	1								
	次 長		1		1							
	総 務 課		29			1	3	4	8		13	
	消 防 課		19			4	4	8	3			
	予 防 課		11			1	2	3	5			
	文化財防災官		(1)				(1)					
	救 急 課		9			1	1	2	4		1	
	指 令 課		18			4	4	4	5		1	
	小 計		88	1	1	11	14	21	25		15	
署	中央消防署	本 署	89	47			2	4	10	19		12
		佐 保 分 署		21 (22)			(1)	3	6	4		8
		南 部 分 署		21 (22)			(1)	3	6	6		6
	南 消 防 署	本 署	56	35			2	4	8	9		12
		西 大 寺 分 署		21 (22)			(1)	3	6	6		6
	西 消 防 署	本 署	68	47			2	4	11	17		13
		富 雄 分 署		21 (22)			(1)	3	6	4	1	7
	北 消 防 署		29	29			2	4	7	7		9
	東 消 防 署	本 署	62	29			2	4	7	11		5
		東 部 分 署		21 (22)			(1)	3	6	11		1
		月ヶ瀬分署		12 (13)			(1)	3	3	6		
	小 計		304			10	38	76	100	1	79	
条 例 定 数			412									

(注) 市長部局へ4名出向及び文部科学省文化庁へ1名出向(定数外)、市長部局からの出向2名含、文化財防災官、佐保分署長、南部分署長、西大寺分署長、富雄分署長、東部分署長及び月ヶ瀬分署長は事務取扱。

8 職員の階級別勤続年数調べ

(令和6年4月1日現在)

階級別 年数別	計	消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監
計	392	94	1	125	97	52	21	1	1
1年	27	25		1	1				
2年	20	20							
3年	16	16							
4年	13	13							
5年	16	16							
6年	5	3		2					
7年	4	1		3					
8年	2			2					
9年	2			2					
10年	14			14					
11年	12			12					
12年	13			12	1				
13年	10			10					
14年	13			13					
15年	13			13					
16年	18			16	2				
17年	7			3	4				
18年	9				9				
19年	16			4	12				
20年	4				4				
21年	5				5				
22年	0								
23年	0								
24年	1				1				
25年	0								
26年	0								
27年	16			5	8	3			
28年	0								
29年	24			2	14	8			
30年	17			5	4	7	1		
31年	22			2	7	12	1		
32年	16		1		7	7	1		
33年	12			1	2	6	3		
34年	11			1	3	4	3		
35年	1				1				
36年	13			1	5	3	4		
37年	0								
38年	9				4	1	3	1	
39年	3				1		1		1
40年	2					1	1		
41年	5			1	1		3		
42年	1				1				
43年	0								
44年	0								
45年	0								
46年	0								
47年	0								
48年以上	0								

(注) 市長部局へ4名出向及び文部科学省文化庁1名出向(定数外)、市長部局からの出向2名含。

9 職員の階級別年令調べ

(令和6年4月1日現在)

階級別 年令別	計	消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監
計	392	94	1	125	97	52	21	1	1
18歳	1	1							
19歳	1	1							
20歳	4	4							
21歳	4	4							
22歳	12	12							
23歳	9	9							
24歳	13	13							
25歳	20	18		2					
26歳	7	7							
27歳	7	7							
28歳	8	6		2					
29歳	6	6							
30歳	5	3		2					
31歳	7	3		4					
32歳	6			6					
33歳	10			10					
34歳	10			10					
35歳	8			7	1				
36歳	12			12					
37歳	16			13	3				
38歳	10			9	1				
39歳	14			12	2				
40歳	10			6	4				
41歳	10			6	4				
42歳	7			4	3				
43歳	9			2	7				
44歳	4				4				
45歳	6			2	4				
46歳	5			1	4				
47歳	14			3	10	1			
48歳	8			2	5	1			
49歳	23			2	9	12			
50歳	15				7	8			
51歳	20		1	3	4	7	5		
52歳	16			1	5	8	2		
53歳	14			1	6	6	1		
54歳	6			1	2	2	1		
55歳	7				3	3	1		
56歳	12				3	3	5	1	
57歳	1						1		
58歳	7			1	3	1	2		
59歳	5			1			3		1
60歳	3				3				
61歳									
62歳									
63歳									
64歳									
65歳以上									

(注) 市長部局へ4名出向及び文部科学省文化庁1名出向(定数外)、市長部局からの出向2名含。

10 職員の研修状況

(令和5年度中)

区	分	研 修 科 目	回 数	延人数
派遣研修	県消防学校	初任教育初任救急総合科	1	1 2
		幹部教育中級幹部科	1	2
		専科教育救助科	1	3
		特別教育3年目研修	1	1 5
		特別教育無線通信教育	1	1 6
	消防大学校	上級幹部科	1	1
		実務講習査察業務マネジメントコース	1	1
		実務講習NBCコース	1	1
		女性活躍推進コース	1	1
	救急救命士養成課程	京都市消防学校	1	1
		大阪市消防局高度専門教育訓練センター	1	1
	その他	指導救命士養成研修	1	1
		感染防止対策強化研修	2	2
		京都市消防局指揮隊実務研修	1	1
		京都市消防局火災調査実務研修	1	1
		大阪市消防局火災調査実務研修	1	1
		大阪市消防局違反処理指導者研修	1	1
		違反是正の推進に係る実務研修	1	1
		国際消防救助隊連携訓練	1	1
		国際消防救助隊セミナー	1	1
		全国救急隊員シンポジウム	1	2
		気管挿管病院実習	2	2
		ビデオ喉頭鏡を使用する気管挿管病院実習	1	1
		玉掛け技能講習	3	3
		小型移動式クレーン講習	1	3
		テールゲートリフター操作特別講習	4	1 3
		NBC災害担当消防職員等に対する教養研修	1	1
		ドローン運用アドバイザー育成研修	1	1
		二等無人航空機操縦士講習	1	2
		消防職員特別教育潜水救助教育指導教官予定者事前研修	1	1
		消防職員特別教育潜水救助教育	2	2
		消防職員のための惨事ストレスの理解と予防コース	1	2
		潜水士免許準備講習会	1	3
		伐木等特別講習	2	1 0
一般研修	局	全職員研修会	1	5 5
特別研修	局	消防職向け手話講習会	1	2 1
		女性活躍推進に関する研修	1	4 0
		公務災害補償に関する研修	1	2 4
		防災講演会	1	2 4
		消防大学入校に伴う報告会	1	1 7
		消防技術研修会	1	2 0
		災害対応に関する研修	4	2 2 0
		救急業務に関する研修	1 3	2 7 1
		火災調査に関する研修	1	3 2
職場研修	課・署	査察業務に関する研修	3	1 2 7
		服務	1 5	6 4
		庶務	2 2	7 5
		情報	6	2 8
		法規	2 1	7 2
		安全管理	2 8	1 8 1
		一般常識	1 2	4 3
		予防	1 3 2	3 6 4
		査察	1 3 7	3 6 4
		危険物	2 0	5 4
		警防	7 7 7	3, 1 9 3
		救急	2 2 1	8 3 6
		救助	7 0 0	2, 8 1 4
		通信	1 0 7	4 8 8
		災害対策	5 1	3 1 2
		消防機械器具	2 0 5	5 5 8
		火災原因調査	5 0	1 5 7
		その他	9 8	4 3 4

11 奈良市消防音楽隊の概要

消防行政のPRと防火思想の普及のため、昭和61年に「奈良市消防音楽隊」として設置されました。現在は派遣演奏等の活動を中止しています。



(1) 音楽隊の編成

(令和6年4月1日現在)

隊長	副隊長	楽長	副楽長	隊員	計
1	1	1	1	17	21

(2) 音楽隊員の階級別年令調べ

(令和6年4月1日現在)

階級別 年令別	計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
計	21	1	3	5	7	5	0	0
18才～29才	0							
30才～39才	4					4		
40才～49才	8			1	6	1		
50才～59才	9	1	3	4	1			
60才以上	0							

(3) 楽器保有数

(令和6年4月1日現在)

品名	数	品名	数
ピッコロ	2	マーチングユーフォニウム	1
フルート	2	チューバ	2
クラリネット	6	スーザフォン	2
アルトサックス	2	スネアドラム	3
テナーサックス	2	バスドラム	2
トランペット	7	クオーード	1
コルネット	2	ドラムセット	1式
フレンチホルン	2	グロッケン	2
マーチングホルン	2	シンバル	1
テナートロンボーン	4	シンセサイザー	1
バストロンボーン	1	コンガ	1
ユーフォニウム	2	ボンゴ	1

警 防 関 係



「令和5年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（和歌山）」

12 警防概要

令和5年中の警防出動（火災・救助・救急出動を除く出動）件数は894件で、一日平均2.4件出動しています。

出動内容は、ガス漏れや危険物流出に伴う危険排除出動や重篤患者に対応する救急隊の支援出動など多岐にわたり、近年、都市構造や社会環境等の変化に伴い、災害の発生要因は複雑多様化し、従来にも増して的確な災害対応が求められており、様々な災害に対応できる知識と技術が要求されるものとなっています。

当市の警防体制は、これらの災害に対応すべく資機材や車両、消防水利等の整備を図るとともに、幅広い知識と技術の習得のため日々訓練・研修に取り組み、市民の安心・安全に期すべく体制強化に努めています。



「消防技術研修会」

13 警防概況

年 別 区 分		令和 5 年	令和 4 年	比 較 △ 減
出 動 件 数		8 9 4	7 9 8	9 6
種 別	自火報警戒（非火災）	1 7 0	1 4 0	3 0
	車両等からの油漏洩	7 9	5 7	2 2
	ガス漏れ	7	5	2
	風水害	2 6	1 0	1 6
	誤報・虚報	4 5	3 4	1 1
	PA（RA）連携	4 7 9	4 6 0	1 9
	そ の 他	8 8	9 2	△ 4
出 動 人 員		5, 3 1 7	4, 6 9 0	6 2 7
1 ヶ 月 平 均 出 動 件 数		7 5	6 7	8

※「PA（RA）連携」とは、直近の救急車が現場到着に時間を要すると判断される場合又は消防隊（P）・救助隊（R）等が応急処置等を実施することが効果的と認められる場合において、災害現場に近い消防隊等を出動させ、救急隊（A）が到着するまでの間の傷病者に対する応急処置等を行うとともに、救急隊が行う応急処置及び救急救命処置の補助等を行うもの、また救急隊のみでは活動が困難と予想される事案に対する支援等の活動をいう。

14 署別警防出動状況

(令和5年中)

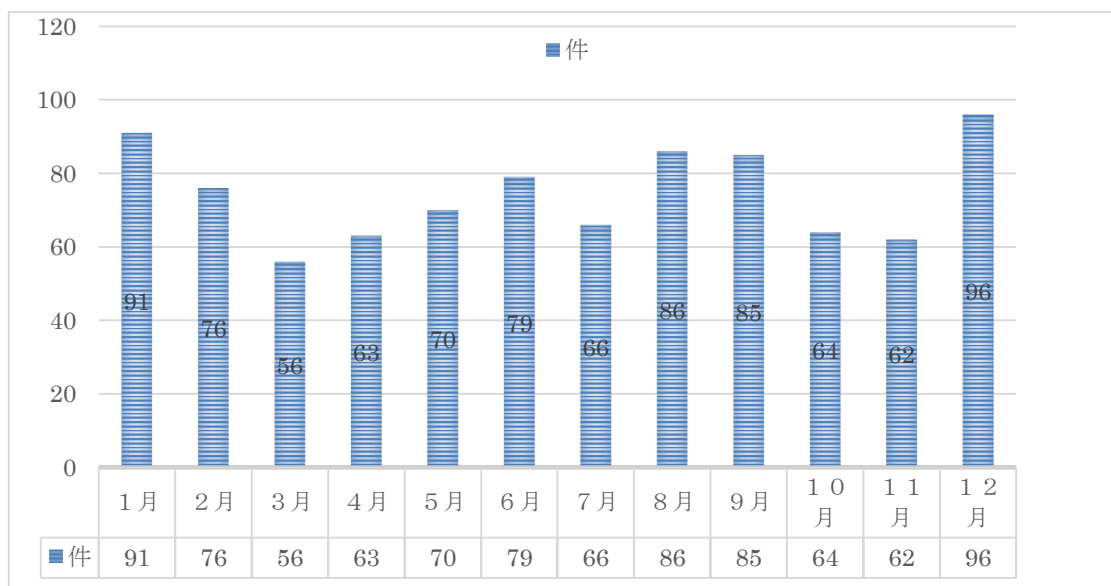
区分		種別	計	自火報警戒 (非火災)	車両等からの油漏洩	ガス漏れ	風水害	誤報・虚報	PA(RA)連携	その他
計	出動件数		894	170	79	7	26	45	479	88
	出動人員		5,317	1,337	611	69	128	517	1,867	788
中央消防署	本 署	出動件数	170	60	13	1	6	10	69	11
		出動人員	1,214	492	98	8	33	201	284	98
	佐保 分署	出動件数	97	19	9	2	4	1	57	5
		出動人員	546	153	77	13	18	7	228	50
	南部 分署	出動件数	73	9	6		1	2	49	6
		出動人員	400	72	56		4	20	192	56
南消防署	本 署	出動件数	136	22	17	2	4	8	70	13
		出動人員	856	170	136	27	19	78	286	140
	西大寺 分署	出動件数	81	21	3		3	7	44	3
		出動人員	411	154	17		13	56	149	22
西消防署	本 署	出動件数	102	19	6	2	3	4	55	13
		出動人員	619	149	39	21	23	46	219	122
	富雄 分署	出動件数	59	6	8		1	3	35	6
		出動人員	285	44	59		3	24	119	36
北消防署	本 署	出動件数	78	5	6		2	5	55	5
		出動人員	416	36	52		9	36	233	50
東消防署	本 署	出動件数	52	6	6		2	1	26	11
		出動人員	268	47	45		6	6	88	76
	東部 分署	出動件数	44	2	5			4	19	14
		出動人員	285	13	32			43	69	128
	月ヶ瀬 分署	出動件数	2	1						1
		出動人員	17	7						10

15 月別警防出動状況

(令和5年中)

種別 月別	計	自火報警戒 (非火災)	車両等からの油漏洩	ガス漏れ	風水害	誤報・虚報	P A (R A) 連携	その他
計	8 9 4	1 7 0	7 9	7	2 6	4 5	4 7 9	8 8
1	9 1	2 0	3			1	5 9	8
2	7 6	1 4	5			2	4 5	1 0
3	5 6	6	7	2		3	3 2	6
4	6 3	8	1			7	3 7	1 0
5	7 0	1 5	9			2	3 5	9
6	7 9	1 0	8		1 1	5	4 0	5
7	6 6	1 8	6			4	3 1	7
8	8 6	2 1	1 3		9	7	3 2	4
9	8 5	1 8	7	1	6	7	4 2	4
1 0	6 4	7	6	2		4	3 9	6
1 1	6 2	1 2	6	1			3 7	6
1 2	9 6	2 1	8	1		3	5 0	1 3

月別警防出動件数



16 消防車両等の配備状況

(令和6年4月1日現在)

署 所 区 分	計	消 防 局	中 央 消 防 署			南 消 防 署		西 消 防 署		北 消 防 署	東 消 防 署		
			本 署	佐 保 分 署	南 部 分 署	本 署	西 大 寺 分 署	本 署	富 雄 分 署		本 署	東 部 分 署	月 ヶ 瀬 分 署
計	118	25	16	6	5	15	4	11	4	8	12	7	5
ポ ン プ 車	13	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1
水槽付ポンプ車	4				1			1		1	1		
化 学 車	2		1			1							
30m 梯子車	1							1					
35m 梯子車	2		1							1			
25m 屈折梯子車	1					1							
高所救助放水車	1											1	
I 型救助工作車	2	1									1		
II 型救助工作車	2	1						1					
III 型救助工作車	1		1										
電 源 車	1		1										
高規格救急車	13	1	2		1	2	1	1	1	1	1	1	1
災害対応特殊救急車	3			1				1			1		
指 令 車	10	7	1					1			1		
広 報 車	5	3				1				1			
査 察 車	11	2	1			1	1		1	1	2	1	1
バ	1	1											
楽 器 搬 送 車	1	1											
搬 送 車	6	2	1		1			1			1		
中型水陸両用車	1	1											
支 援 車	1	1											
輸 送 車	1					1							
連 絡 車	1	1											
燃 料 補 給 車	1	1											
予 防 啓 発 車	0												
軽四輪積載車	1			1									
原動機付自転車	16		2	1	1	3	1	2	1	1	2	1	1
小型動力ポンプ	16	1	4	2		3		1		1	1	2	1

(注) 中央消防署・南消防署・佐保分署の小型動力ポンプは、管轄内の社寺及びならまち分を含む。

17 消防水利状況

(令和6年4月1日現在)

(1) 消火栓

区分 署別	合 計	公 設	私 設	その他(簡水)
合 計	5, 8 8 7	5, 1 0 0	3 3 4	4 5 3
中央消防署	1, 8 6 8	1, 6 1 3	2 0 0	5 5
南 消 防 署	1, 3 3 1	1, 2 5 8	7 3	
西 消 防 署	1, 4 9 4	1, 4 6 4	3 0	
北 消 防 署	5 2 6	4 9 5	3 1	
東 消 防 署	6 6 8	2 7 0		3 9 8

(2) 防火水槽

区分 署別	公 設				私 設			
	有 蓋		無 蓋		有 蓋		無 蓋	
	40t 以上 100t 未満	100t 以上	40t 以上 100t 未満	100t 以上	40t 以上 100t 未満	100t 以上	40t 以上 100t 未満	100t 以上
合 計	5 1 7	4 1	1 3 5	0	7 1 3	4 3	3 4	8
中央消防署	1 2 4	1 3	1 2		2 1 6	1 7	6	2
南 消 防 署	5 8	6			1 6 9	1 3	2	3
西 消 防 署	1 2 3	1 1			1 9 6	1 1	1	1
北 消 防 署	3 3	6	1		6 0			1
東 消 防 署	1 7 9	5	1 2 2		7 2	2	2 5	1

(3) その他の水利

区分 署別	た め 池	プ ー ル	河 川
合 計	1 9 3	9 3	2 7
中 央 消 防 署	4 2	3 0	7
南 消 防 署	3 5	1 5	6
西 消 防 署	2 0	2 2	2
北 消 防 署	2 2	9	
東 消 防 署	7 4	1 7	1 2

通 信 関 係



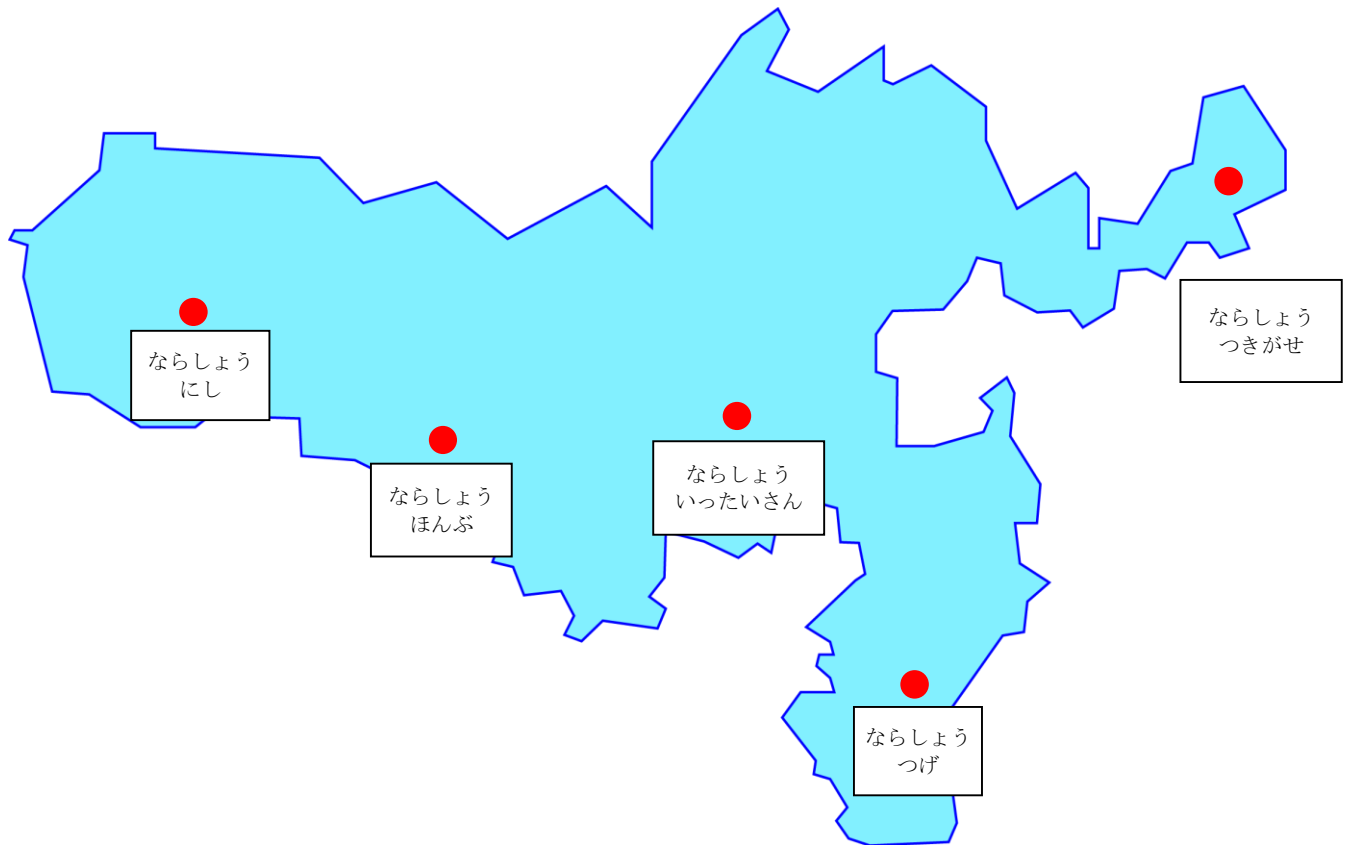
11月9日は『119番の日』

奈良市消防局 指令課

「2024 年 奈良市消防局カレンダーより」

18 通信施設

(1) 基地局



基地局（デジタル）		消防局	一体山 前進基地局	都祁 前進基地局	西消防署 前進基地局	月ヶ瀬 前進基地局
呼出名称		ならしょう ほんぶ	ならしょう いったいさん	ならしょう つげ	ならしょう にし	ならしょう つきがせ
出 力		10W	5W	10W	10W	10W
実装 周波数 名称	活動波 1	○	○			
	活動波 2	○	○	○	○	○
	活動波 3	○	○	○	○	
	活動波 4	○				
	主運用波	○	○	○		
	統制波 1	○	○	○		
	統制波 2	○	○	○		
	統制波 3	○	○	○		

(2) 無線電話の現状

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

区分 局別			実装周波数名称	出 力	総 数	消 防 局	中央消防署	南消防署	西消防署	北消防署	東消防署
消防救急無線	デジタル無線機	車載無線機	活動波 1 活動波 2 活動波 3 活動波 4 主運用波 統制波 1 統制波 2 統制波 3	10W	87	25	17	12	11	6	16
		可搬型無線機		10W	8	3	1	1	1	1	1
		携帯無線機		5W	65	13	14	11	10	6	11
	アナログ無線機	可搬型無線機	防災相互波	10W	2	2					
		携帯無線機		5W	18	6	3	3	2	1	3
		携帯無線機 (署活動系)	署活系 1ch～4ch 防災相互波 県内共通波 (G 1 ～ G 1 7 実装)	1W	167 (166)	26	38	30	28	16	29
	市防災行政無線			1W	1	1					
救急車積載携帯電話			0.8W	16	1	4	3	3	1	4	
画像伝送装置				16	3	4	2	3	1	3	
位置管理用通信機				57	12	12	8	9	5	11	

(3) 有線電話

(令和6年4月1日現在)

局別 \ 区分	計	消防局	中央消防署	南消防署	西消防署	北消防署	東消防署
火災専用電話（固定電話・IP電話等） 119番	12	12					
非常用119番	10	10					
携帯119番	4	4					
携帯119番転送回線	6	6					
一般加入電話	31	10（一般） 3（発信専用）	5	3	4	2	4
内 線	219	84	40	28	24	14	29
テレガイド	14	14					
警察電話	1	1					
110番転送	1	1					
市役所	1	1					
企業局（緑ヶ丘浄水場）	2	2					
阪神高速	1	1					
近鉄生駒駅	1	1					
相楽中部消防組合消防本部	1	1					

(4) 119番着信件数

(令和5年中)

区分 月	緊急性を要する通報							緊急性を要しない通報										
	総 数	火 災	救 急	救 助	警 戒	水 防	調 査	病院 問 合 せ	問 合 せ	相 談	苦 情	感 謝	間 違 い	いた ずら	回 線 テ ス ト	自 動 通 報 試 験	訓 練 通 報	そ の 他
総 数	36,643	92	24,061	356	402	3	4	908	1,589	460	12	13	3,067	993	330	593	668	3,092
1	3,228	10	2,279	32	33		1	131	140	68	2	2	151	18	30	46	23	262
2	2,567	6	1,740	24	29		1	49	99	41	5		205	46	23	41	46	212
3	2,574	9	1,706	22	21			75	98	34			243	46	27	45	61	187
4	2,830	8	1,752	28	27			58	92	41			322	110	35	60	39	258
5	3,292	9	1,893	30	35	1		69	127	38			469	192	18	45	50	316
6	3,591	8	1,944	31	36	1		64	144	36		2	562	296	38	53	63	313
7	3,548	6	2,239	27	34			89	184	40	1		341	169	36	41	27	314
8	3,409	7	2,345	30	52		1	90	199	39	3		225	49	29	45	39	256
9	3,050	5	2,132	29	42	1		64	156	54		2	167	27	12	50	59	250
10	2,742	4	1,934	39	22			73	100	22		1	137	15	33	60	77	225
11	2,629	5	1,826	30	24		1	67	124	17		4	116	11	19	68	110	207
12	3,183	15	2,271	34	47			79	126	30	1	2	129	14	30	39	74	292

(5) 119番通報種別割合

(令和5年中)

区分 月	総数	NTT 固定		携 帯		I P		その他		携帯+IP	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
合計	36,643	5,309	14.5	18,787	51.3	9,396	25.6	3,151	8.6	28,183	76.9
1	3,228	479	14.8	1,688	52.3	921	28.5	140	4.3	2,609	80.8
2	2,567	380	14.8	1,283	50.0	715	27.9	189	7.4	1,998	77.8
3	2,574	380	14.8	1,348	52.3	675	26.2	171	6.6	2,023	78.6
4	2,830	417	14.7	1,367	48.3	670	23.7	376	13.3	2,037	72.0
5	3,292	382	11.6	1,587	48.2	725	22.0	598	18.2	2,312	70.2
6	3,591	417	11.6	1,714	47.7	764	21.3	696	19.4	2,478	69.0
7	3,548	535	15.1	1,817	51.2	811	22.9	385	10.9	2,628	74.1
8	3,409	495	14.5	1,842	54.0	878	25.8	194	5.7	2,720	79.8
9	3,050	411	13.5	1,718	56.3	824	27.0	97	3.2	2,542	83.3
10	2,742	486	17.7	1,408	51.3	749	27.3	99	3.6	2,157	78.7
11	2,629	442	16.8	1,333	50.7	767	29.2	87	3.3	2,100	79.9
12	3,183	485	15.2	1,682	52.8	897	28.2	119	3.7	2,579	81.0

(6) テレフォンガイド利用数

(令和5年中)

計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
14,587	1,438	851	1,124	1,446	1,626	1,384	1,133	1,056	675	882	1,138	1,834

(7) 月別気象状況（消防局）

（令和 5 年中）

区分 月	気温（℃）			湿度（％）			風速（m/s）			降水量（mm）			気圧（hPa）		
	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 大	風 向	月 合 計 値	日 最 大	降 水 日 数	月 平 均	最 高	最 低
1	5	15.1	-3.4	75.5	99.9	27.5	2.4	26.5	西南西	23	12	6	1011.6	1021.1	994.6
2	5.7	17.4	-2.4	75.1	99.9	31.1	2.3	18.8	北	29.5	12	5	1014.3	1027.3	997.6
3	11.9	26.2	1.8	65.7	99.9	10.0	2.1	11.2	北	54	13	8	1011.8	1020.6	995.2
4	15.2	27.9	5.1	68.4	99.9	8.3	2.5	17.4	北	121.5	30.5	11	1007.5	1018.0	989.6
5	19.5	32.8	8.5	69.8	99.9	9.9	2.4	19.2	北	192.5	75	12	1006.2	1020.0	991.8
6	23.5	33.6	14.1	78.8	99.9	22.2	2.1	27.5	北	208.0	140.5	16	1001.2	1009.0	989.9
7	29.1	38.6	21.7	72.5	99.9	31.1	2.0	20.4	南南東	112.0	25	10	1002.9	1010.4	991.1
8	29.7	38.6	24.1	74.1	99.9	31.3	2.5	33.4	東	135.0	58	13	999.8	1008.1	977.5
9	27.3	36.6	18.2	75.4	99.9	33.6	2.0	15.5	南南東	129.0	33	12	1004.4	1010.7	997.9
10	17.8	27.0	8.9	73.7	99.9	29.7	2.1	19.2	北	80.5	15.5	10	1008.3	1017.2	996.8
11	12.9	27.7	2.2	76.7	99.9	25.8	2.1	18.5	西南西	71.0	21.5	7	1007.2	1011.3	998.2
12	7.9	22.5	-1.1	73.9	99.9	25.8	2.3	24.3	南	20.0	7.5	5	1013.5	1024.9	998.3
平均	17.1	28.7	8.1	73.3	99.9	23.9	2.2	21.7	北	98.0	40.0	9.6	1007.7	1016.6	993.2

(8) 月別気象状況（東消防署）

（令和 5 年中）

区分 月	気温（℃）			湿度（％）			風速（m/s）			降水量（mm）			気圧（hPa）		
	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 大	風 向	月 合 計 値	日 最 大	降 水 日 数	月 平 均	最 高	最 低
1	1.6	15	-7.2	87.3	98.6	30.2	2.2	22	西	31.5	19.5	5	963.4	971.8	946.7
2	2.3	14.7	-6.1	86	98.3	36.1	1.7	15	西	34.5	13	7	966	978.1	950.5
3	8	21.6	-2.5	78.5	98.3	11.6	1.5	17.5	西	62.5	14	7	964.7	971.9	950.2
4	11.6	24.4	0.3	78.4	98.6	14.9	1.8	13.9	西	105.5	23.5	12	961.2	970.5	944.4
5	15.6	28.8	3.8	81	98.6	12.7	1.7	17.3	西	154	53.5	12	960.6	972.7	946.1
6	19.7	28.7	9	88.3	98.6	30.5	1.7	13.7	西	201	147.5	15	956.5	963.8	945.7
7	24.8	34.1	17.4	85	98.3	33.6	1.6	20.9	西	94.5	26	12	959	965.8	947
8	25.2	33	19.7	88.3	98.3	42.2	2.1	27.6	東北東	194	83	13	956.2	964.2	935.7
9	23	31.5	14.2	87.9	98.6	48.8	1.4	12.5	西	64.5	26.5	8	960.2	966	954.1
10	13.6	22.8	4.4	86.1	98.3	40.8	1.5	19.3	西	73	17	10	962.4	970.3	951.5
11	9.2	22.8	-2.4	86.5	98.6	38.6	2	17.2	西	94.5	24	8	964.5	972.3	950.8
12	4.6	19.7	-3.4	84.7	98.6	24.9	2.3	19.2	西	31	11	6	965.7	975.5	951.7
平均	13.3	24.8	4.0	84.9	98.5	30.4	1.8	18	西	95	38.2	9.6	961.7	970.2	947.9

救 急 関 係



「令和 5 年度救急特別訓練」

19 救急概要

令和５年中の救急出場件数は２４，１６６件となり、前年と比べて１，１７４件増加しました。また、搬送人員は２１，０２４人となり前年度より１，００７人増加しました。１年間で市民約１７人に１人の割合で搬送したことになります。

救急出場件数を事故種別に分類するとトップに急病１６，５４４件、続いて一般負傷４，２０３件、交通事故１，０２４件の順となっており、この３つの種別だけで全体の約９０％を占めています。

当市においては、これらの救急事案に対処するため、平成４年度から救急高度化推進事業として最新の資器材と優れた救急隊員をもって、高規格救急自動車１６台、救急救命士６１名（令和５年１月１日現在）を配置、うち高規格救急自動車１台を平成２２年１０月よりドクターカーとして運用し、あらゆる救急事故発生に備え市民の救命率向上を図るために万全の体制を期しております。



「高規格救急自動車」

20 救急資器材

(令和6年4月1日現在)

分類	品名	分類	品名
観察用資器材	患者監視装置	通信用資器材	車載無線機
	血圧計		携帯電話
	血中酸素飽和度測定器		情報通信端末
	検眼ライト		心電図伝送等送受信機器
	心電計	保温・搬送用資器材	雨おおい
	体温計		スクープストレッチャー
	聴診器		担架
	血糖値測定器		バックボード
呼吸・循環管理用資器材	気道確保用資器材		保温用毛布
	吸引器一式	器材 応用資	固定用資器材
	喉頭鏡		創傷保護用資器材
	酸素吸入器一式	用資機材 止・消毒	感染防止用資器材
	自動式人工呼吸器一式		消毒用資器材
	手動式人工呼吸器一式	その他資器材	トリアージタグ
	半自動体外式除細動器		膿盆
	マギール鉗子		はさみ
	呼気二酸化炭素測定器具		ピンセット
	ショックパンツ		分娩用資器材
	自動式心マッサージ器		冷却用資器材
	心肺蘇生用背板		保安帽
	特定行為用資器材		救急かばん
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡		警笛
資器材 救出用	救命浮輪		懐中電灯
	救命綱		在宅療法継続用資器材
	万能斧		リングカッター

21 救急概況（前年との比較）

区 分 \ 年 別		令和 5 年	令和 4 年	比較（△減）
出場件数		24, 166	22, 992	1, 174
事故種別	火災	35	24	11
	自然災害	1	0	1
	水難	8	1	7
	交通	1, 024	1, 057	△33
	労働災害	204	173	31
	運動競技	123	113	10
	一般負傷	4, 203	3, 848	355
	加害	47	63	△16
	自損行為	172	175	△3
	急病	16, 544	15, 699	845
	転院搬送	1, 649	1, 750	△101
	医師搬送	62	12	50
	その他	94	77	17
救急件数		20, 915	19, 918	997
搬送人員（合計）		21, 024	20, 017	1, 007
1 ヲ月平均出場件数 （約）		2, 014	1, 916	98
1 日平均出場件数 （約）		66	63	3

22 署別救急出場状況

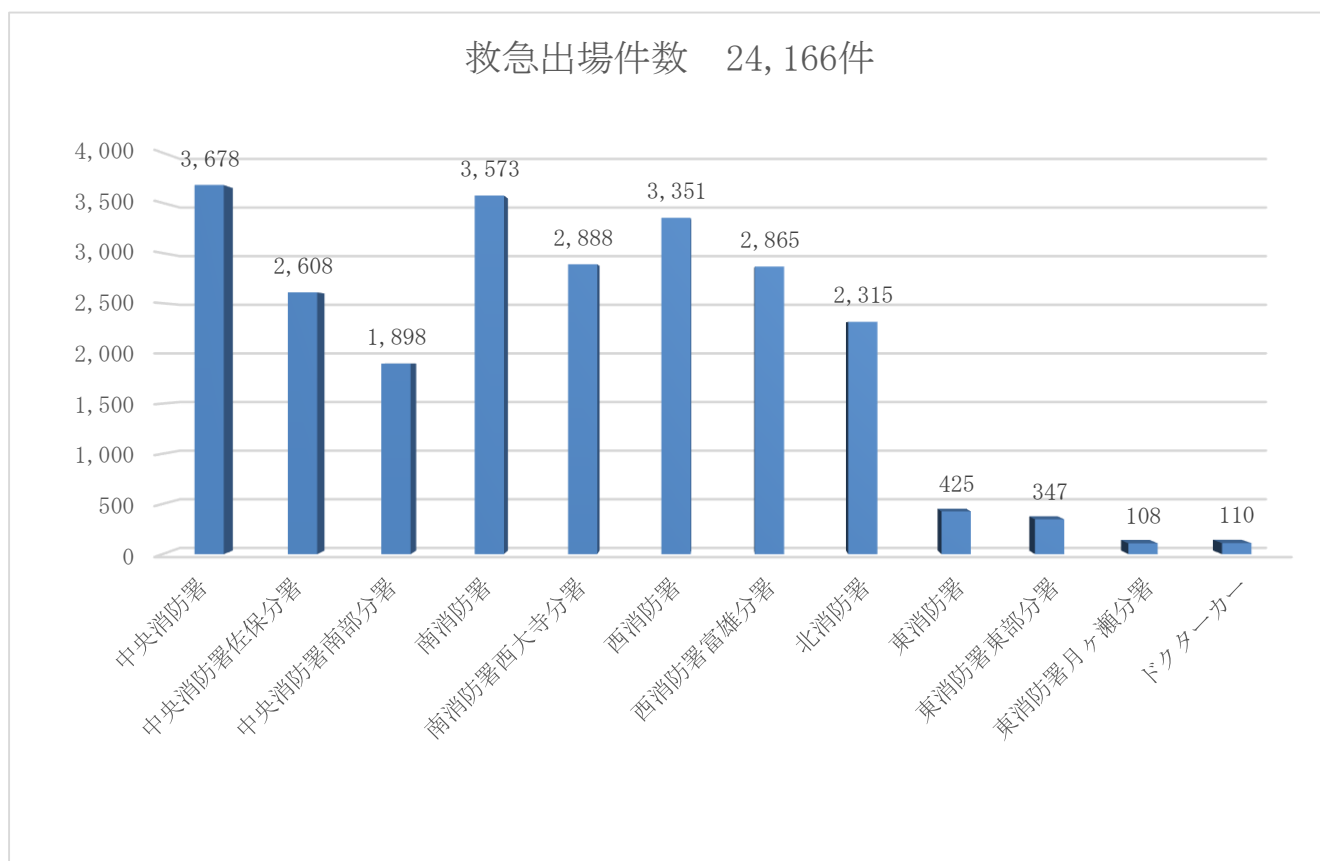
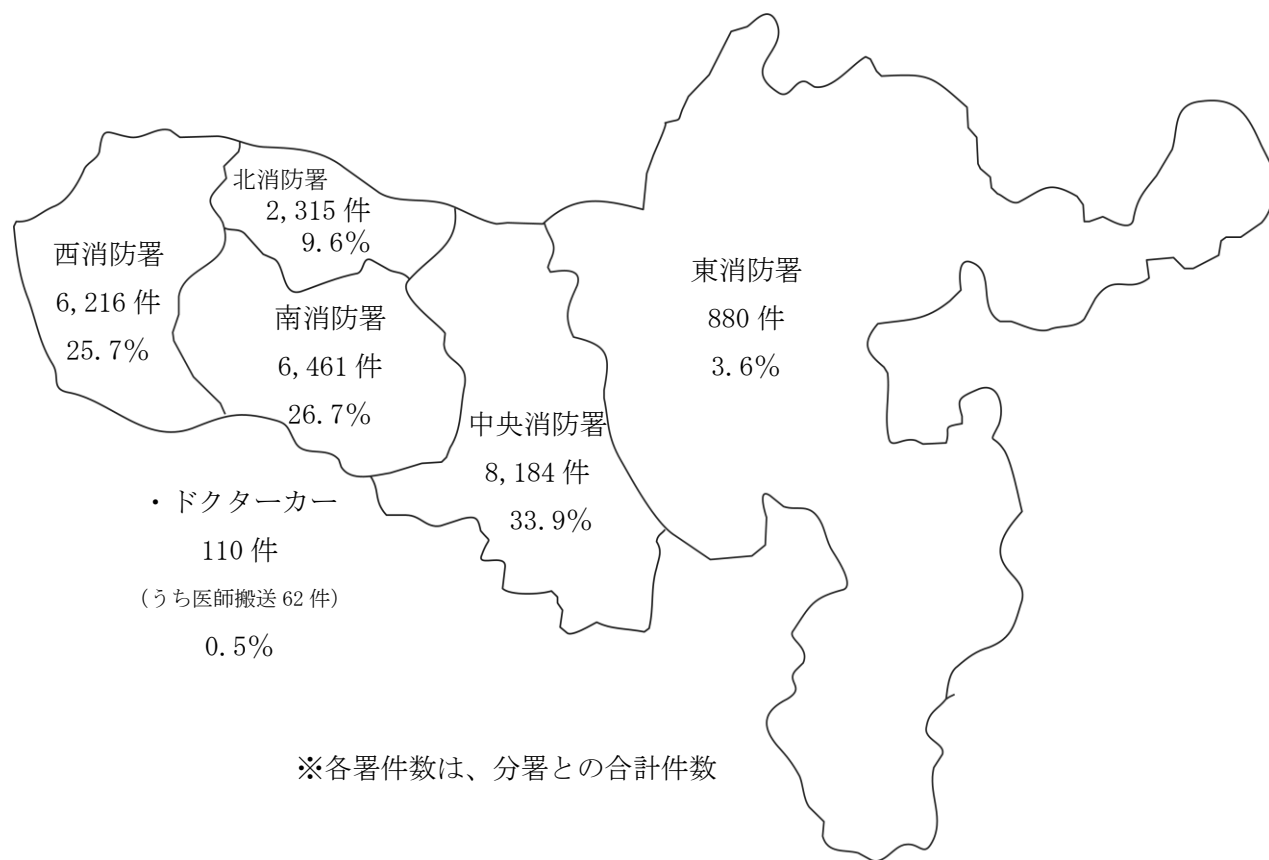
(令和5年度中)

種別 区分			合 計	火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他
合 計		出場件数	24,166	35	1	8	1,024	204	123	4,203	47	172	16,544	1,805
		搬送人員	21,024	16	1	4	944	194	120	3,760	34	124	14,188	1,639
局 本 部		出場件数	0											
		搬送人員	0											
ドクターカー		出場件数	110				1			5		1	41	62
		搬送人員	19							4			12	3
中央消防署	本 署	出場件数	3,678	5		2	171	25	12	660	10	30	2,474	289
		搬送人員	3,114	3		2	152	25	12	597	7	23	2,021	272
	佐保 分署	出場件数	2,608	2			126	17	20	454	7	15	1,842	125
		搬送人員	2,262	1			115	16	18	422	6	10	1,559	115
	南部 分署	出場件数	1,898	4			78	15	7	310	6	14	1,370	94
		搬送人員	1,682	1			77	14	7	284	6	9	1,197	87
南消防署	本 署	出場件数	3,573	8		4	172	40	11	574	9	30	2,319	406
		搬送人員	3,209	3			169	39	11	529	5	23	2,041	389
	西大寺 分署	出場件数	2,888	4		1	127	28	21	503	3	25	1,997	179
		搬送人員	2,508	1		1	110	23	23	423	1	19	1,749	158
西消防署	本 署	出場件数	3,351	1			93	22	15	594	4	24	2,362	236
		搬送人員	2,886	1			81	21	14	519	4	17	2,004	225
	富雄 分署	出場件数	2,865	1			99	18	3	527	3	11	1,977	226
		搬送人員	2,486				89	18	3	460	1	5	1,695	215
北消防署	本 署	出場件数	2,315	6		1	78	9	22	405	2	17	1,627	148
		搬送人員	2,075	4		1	72	9	22	370	1	15	1,439	142
東消防署	本 署	出場件数	425	1			40	14	8	71	2	4	267	18
		搬送人員	388				44	14	8	65	2	2	236	17
	東部 分署	出場件数	347	3	1		27	9	2	79	1	1	209	15
		搬送人員	314	2	1		26	8	2	75	1	1	187	11
	月ヶ瀬 分署	出場件数	108				12	7	2	21			59	7
		搬送人員	81				9	7		12			48	5

※ ドクターカー出場件数のうち、医師搬送は62件

23 署別救急出場件数

(令和5年中)



24 月別救急出場状況

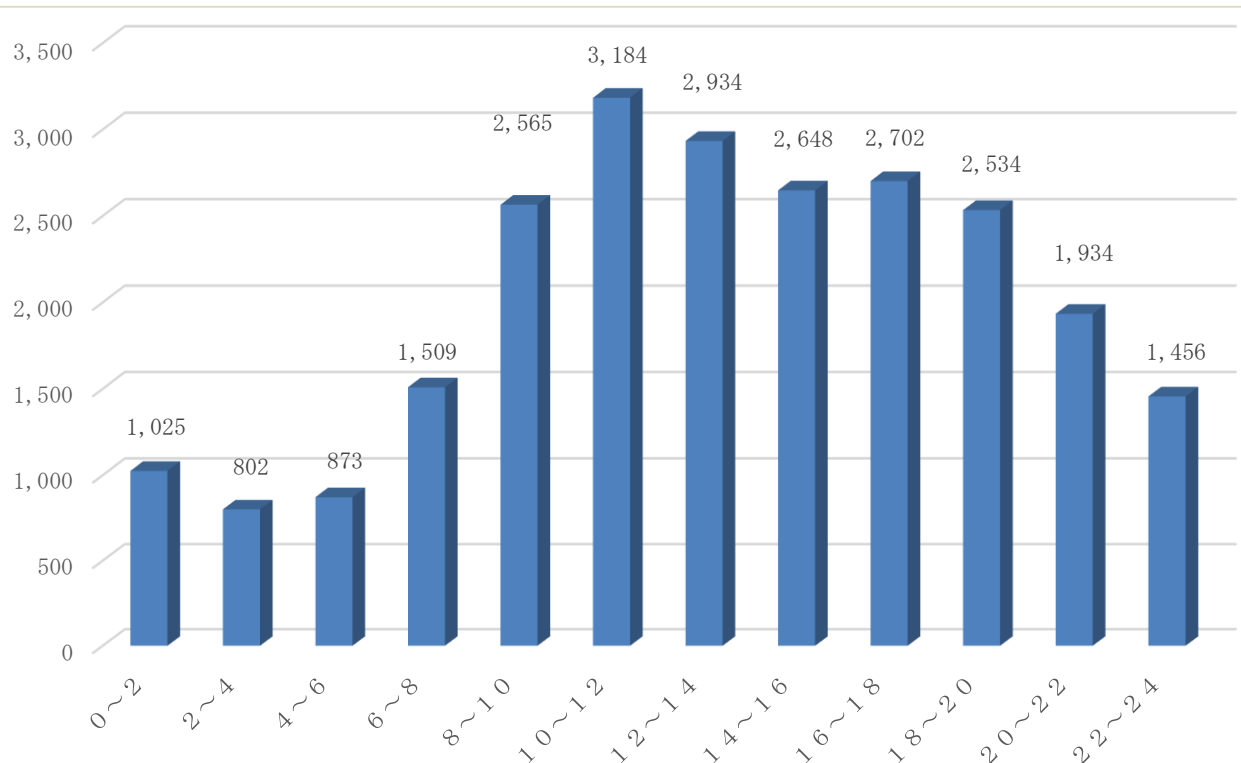
(令和5年中)

月別	区分	計	事故種別										
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	出場件数	24,166	35	1	8	1,024	204	123	4,203	47	172	16,544	1,805
	搬送人員	21,024	16	1	4	944	194	120	3,760	34	124	14,188	1,639
1月	出場件数	2,261	4			95	9	2	400	3	18	1,546	184
	搬送人員	1,863	3			82	9	2	348	3	13	1,237	166
2月	出場件数	1,743	2		1	72	12	7	300	3	13	1,208	125
	搬送人員	1,458			1	70	12	7	256	2	5	996	109
3月	出場件数	1,706	2		1	73	19	6	319	8	13	1,142	123
	搬送人員	1,485	1			70	18	6	281	9	8	987	105
4月	出場件数	1,770	3			80	15	9	351	5	10	1,158	139
	搬送人員	1,574	1			73	14	8	316	4	7	1,024	127
5月	出場件数	1,902	3			92	12	14	307	2	17	1,309	146
	搬送人員	1,695	1			81	11	14	273	1	15	1,164	135
6月	出場件数	1,954	1		3	71	16	11	316	4	19	1,358	155
	搬送人員	1,735			1	63	15	10	285	3	14	1,203	141
7月	出場件数	2,240	2			87	30	14	350	3	10	1,578	166
	搬送人員	1,952				82	28	14	312	2	7	1,352	155
8月	出場件数	2,360	1	1		106	26	16	355	7	16	1,680	152
	搬送人員	2,047		1		93	25	16	322	4	9	1,441	136
9月	出場件数	2,140	2			72	15	17	330	3	19	1,505	177
	搬送人員	1,862	2			70	13	17	293	1	15	1,293	158
10月	出場件数	1,959				105	19	5	395	4	22	1,276	133
	搬送人員	1,712				103	18	4	359	3	19	1,086	120
11月	出場件数	1,845	5		1	78	11	8	333	3	8	1,249	149
	搬送人員	1,619	3		1	70	11	8	312	1	7	1,063	143
12月	出場件数	2,286	10		2	93	20	14	447	2	7	1,535	156
	搬送人員	2,022	5		1	87	20	14	403	1	5	1,342	144

25 時間別救急出場状況

(令和5年中)

事故種別 時間別	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他
計	24,166	35	1	8	1,024	204	123	4,203	47	172	16,544	1,649	62	0	94
0～2	1,025	5			25	1		145	1	11	807	26			4
2～4	802			1	13	3		95	3	8	656	20			3
4～6	873	1		1	20	3		99	3	7	721	13			5
6～8	1,509	3			67	3		235		14	1,165	20			2
8～10	2,565	4	1		108	38	2	493	2	10	1,764	120	9		14
10～12	3,184	2			150	53	24	624	1	16	1,949	338	16		11
12～14	2,934	2		3	131	29	27	493	3	21	1,810	385	19		11
14～16	2,648	7		1	147	40	21	489	2	17	1,668	234	15		7
16～18	2,702	3		1	131	24	17	525	9	15	1,713	249	3		12
18～20	2,534	2			133	6	15	469	8	20	1,730	140			11
20～22	1,934	5		1	65	4	9	320	8	19	1,431	63			9
22～24	1,456	1			34		8	216	7	14	1,130	41			5



26 傷病程度別搬送人員

(令和5年中)

区分	事故種別 傷病程度	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	合計	21,024	16	1	4	944	194	120	3,760	34	124	14,188	1,639
	死亡	197	1	0	1	0	0	0	17	0	12	166	0
	重症	790	4	0	0	14	4	1	90	0	17	499	161
	中等症	10,292	6	1	1	197	53	40	1,318	6	57	7,264	1,349
	軽症	9,740	5	0	2	733	137	79	2,334	28	38	6,256	128
	その他	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	1
新生児	死亡	0											
	重症	3										1	2
	中等症	20										6	14
	軽症	2										2	
	その他	0											
乳幼児	死亡	0											
	重症	5										4	1
	中等症	206							10			143	53
	軽症	942				17			219	1		689	16
	その他	0											
少年	死亡	3									2	1	
	重症	6				2						2	2
	中等症	123				9	1	7	11	1	5	74	15
	軽症	597	1			70		46	113	4	2	355	6
	その他	0											
成人	死亡	22	1						2		7	12	
	重症	158	1			6	3		5		13	83	47
	中等症	2,059	4		1	120	38	32	142	4	47	1,365	306
	軽症	3,238	2			461	99	30	437	19	31	2,122	37
	その他	0											
高齢者	死亡	172			1				15		3	153	
	重症	618	3			6	1	1	85		4	409	109
	中等症	7,884	2	1		68	14	1	1,155	1	5	5,676	961
	軽症	4,961	2		2	185	38	3	1,565	4	5	3,088	69
	その他	5							1			3	1

※ 網掛けにあつては該当なし。

27 救急隊員の行った応急処置回数

(令和5年中)

事故種別	処置 傷病程度	止血	固定	人工呼吸	心マッサージ	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	在宅療法継続	除細動	血圧測定	心音等の聴取	血中酸素飽和度	心電図
合計	合計	460	462	30	0	325	3,392	440	270	1,042	12	15	19,830	1,632	20,843	7,719
	死亡	0	10	2	0	166	175	181	2	0	0	3	13	46	142	170
	重症	6	37	24	0	153	436	211	27	14	0	11	633	138	759	518
	中等症	76	187	4	0	6	2,432	42	152	189	12	1	10,103	978	10,265	4,336
	軽症	378	228	0	0	0	349	6	89	839	0	0	9,077	470	9,673	2,693
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	2
急病	計	76	29	24		264	2,735	367	190	52	10	14	13,315	1,299	14,063	6,380
	死亡		1	2		139	147	151	1			2	12	41	120	148
	重症		1	18		120	321	172	17	1		11	377	106	473	388
	中等症	10	17	4		5	1,968	39	107	25	10	1	7,143	807	7,247	3,608
	軽症	66	10				299	5	65	26			5,780	345	6,220	2,234
	その他												3		3	2
交通事故	計	55	149			4	26	5	13	176			925	71	943	139
	死亡															
	重症	1	10			4	9	5	2	4			10	5	14	10
	中等症	14	60				14		6	43			195	32	197	58
	軽症	40	79				3		5	129			720	34	732	71
	その他															
一般負傷	計	289	210	3		32	155	38	40	732	2	1	3,556	160	3,724	569
	死亡					15	15	17	1			1	1	3	13	11
	重症	3	12	3		16	26	19	2	1			76	12	88	29
	中等症	40	85			1	78	2	23	104	2		1,308	66	1,317	230
	軽症	246	113				36		14	627			2,170	79	2,305	299
	その他												1		1	
その他	計	40	74	3		25	476	30	27	82			2,034	102	2,113	631
	死亡		9			12	13	13					2	9	11	
	重症	2	14	3		13	80	15	6	8			170	15	184	91
	中等症	12	25				372	1	16	17			1,457	73	1,504	440
	軽症	26	26				11	1	5	57			407	12	416	89
	その他															

28 救急救命士による特定行為実施状況

(令和5年中)

事故 種別 応急 処置	急 病					交 通 事 故					一 般 負 傷					そ の 他					合 計					
	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計
食道閉鎖式 エアウェイ	43	54	3				1				2	6	1			2	5				47	66	4	0	0	117
気管挿管	7	24					2				1	8				1	4				9	38	0	0	0	47
ブドウ糖投 与のための 静脈路確保			9	14													1		1		0	1	9	15	0	25
心停止前 静脈路確保		9	22	5			1	2	1			1	3				3	1			0	14	28	6	0	48
心停止後 静脈路確保	45	69	2				3				6	11				7	8				58	91	2	0	0	151
薬剤投与	43	67	2				3				6	10				5	8				54	88	2	0	0	144
血糖値測定		3	20	17					1				1						2		0	3	21	20	0	44
エピペン																					0	0	0	0	0	0
ブドウ糖投与			10	15															1		0	0	10	16	0	26

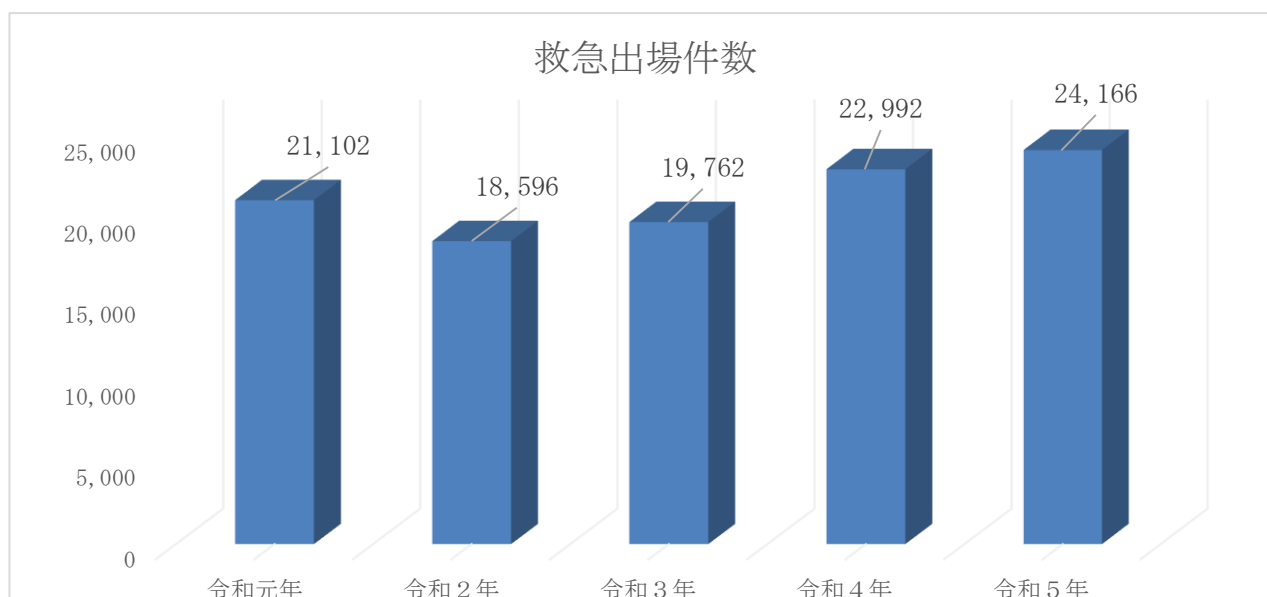
29 急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員調

(令和5年中)

疾病 分類 傷病 程度	計	循 環 系		消 化 系	呼 吸 系	精 神 系	感 覚 系	泌 尿 系	新 生 物	そ の 他	症 状・徴 候・診 断 名不明 確の状 態
		脳 疾 患	心 疾 患 等								
計	14,187	819	737	1,014	1,646	349	370	373	164	1,885	6,830
死 亡	166	1	6	1	1			1	1		155
重 症	499	102	50	14	56	8	2	5	23	36	203
中 等 症	7,264	590	489	578	1,134	125	158	162	127	971	2,930
軽 症	6,255	126	192	421	455	216	210	205	13	878	3,539
そ の 他	3										3

30 過去5ヵ年の事故別救急出場状況

種 別 区分		合 計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
令和 元年	出場件数	21,102	45	0	7	1,256	174	123	3,685	63	182	13,659	1,908
	搬送人員	19,101	13	0	4	1,168	168	119	3,416	53	135	12,356	1,669
令和 2年	出場件数	18,596	37	0	7	981	149	66	3,470	51	172	12,096	1,567
	搬送人員	17,056	15	0	4	940	147	69	3,232	41	120	11,042	1,446
令和 3年	出場件数	19,762	33	0	4	1,059	154	145	3,402	47	161	13,031	1,726
	搬送人員	18,028	12	0	0	1,007	153	156	3,129	41	117	11,763	1,650
令和 4年	出場件数	22,992	24	0	1	1,057	173	113	3,848	63	175	15,699	1,839
	搬送人員	20,017	7	0	1	982	168	117	3,434	54	120	13,407	1,727
令和 5年	出場件数	24,166	35	1	8	1,024	204	123	4,203	47	172	16,544	1,805
	搬送人員	21,024	16	1	4	944	194	120	3,761	34	124	14,187	1,639



31 応急手当講習実施状況

(令和5年中)

区分 月	救命入門コース (注 1)		普通救命講習Ⅰ (注 2)		普通救命講習Ⅲ (注 3)		上級救命講習 (注 4)	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
合計	104	1,758	185	1,407	57	120	4	49
1月	4	35	11	72	3	5		
2月	5	55	13	105	4	7		
3月	3	44	21	185	4	8		
4月	2	33	6	23	5	7		
5月	20	463	10	73	2	4	1	16
6月	20	380	21	144	10	39		
7月	14	230	16	107	7	13	1	17
8月	2	27	18	175	6	11		
9月	10	191	17	119	4	5	1	9
10月	5	86	14	74	5	8		
11月	8	80	20	141	5	9	1	7
12月	11	134	18	189	2	4		

(注 1) 救命入門コース：心肺蘇生法の基礎的な内容の講習（45分・90分）

(注 2) 普通救命講習Ⅰ：主に成人に対する心肺蘇生法や応急手当等を学ぶ講習（3時間）

(注 3) 普通救命講習Ⅲ：主に小児に対する心肺蘇生法や応急手当等を学ぶ講習（3時間）

(注 4) 上級救命講習：成人・小児に対する心肺蘇生法や応急手当等を学ぶ講習（8時間）



救 助 関 係



「令和5年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（和歌山）」

32 救助概要

令和5年中の救助出動件数は341件で、うち223件の救助活動により、206名を救助しています。

消防機関の行う救助活動は、近年、都市化の進展に伴い、災害の態様は複雑多様化・大規模化の傾向を強めており、救助事象における活動は複雑多岐にわたるものとなり、救助における高度な知識と技術が要求されるものとなっています。

当市の救助体制は、中央消防署に高度な救助資機材を導入した高度救助隊、西消防署に特別救助隊、東消防署に兼任救助隊を配置し、熟練された隊員により、あらゆる災害に対処し、市民の安全・安心に期しています。

また、国際消防救助隊員として6名の隊員を総務省消防庁に登録しており、海外での大規模災害に備え、各種研修への参加をはじめ、あらゆる想定訓練・教養を実施し資質向上に努めています。



「中型水陸両用車悪路走行訓練」

33 高度救助用資機材

高度救助隊・特別救助隊に配置している救助工作車Ⅱ・Ⅲ型に、ファイバースコープ等の探索機、熱画像直視装置等の高度な資機材を積載し、大地震で多発する崩壊現場に対応するため、地震警報器等を導入し装備の充実を図っております。

資機材名	特 長
画像探索機（Ⅰ型） （ファイバースコープ）	生き埋め現場でカメラを空隙内に差込探索する。（ケーブルが自由自在に曲がる。Ⅱ型と比較して焦点距離が短い。）
画像探索機（Ⅱ型）	倒壊ビルの壁に穴を開けカメラを差込、室内等を探索する。（棒カメラを差込、Ⅰ型と比較して焦点距離が長く全体を観察出来る。）
水中探査装置	水難救助現場等、水中にカメラを入れ検索する。
地中音響探索機	地中聴音機で閉鎖された遭難者のノック信号を聞いて遭難者の位置を確認する。
電磁波探査装置	地震や土砂災害などで倒壊した建物や土砂などの下敷きになっている生存者を探索する。
熱画像直視装置	赤外線カメラである。暗闇や煙の中で倒れている救助対象者を検索する。
夜間暗視装置	超高感度暗視スコープで暗闇や煙の中で倒れている救助対象者を検索する。
地震警報器	軽量かつコンパクトでどこでも使用できるもので、地震の初期微動を検知し、大きな揺れになる前にいち早く警報を発するため、隊員等の安全管理に必要である。
小型マット型空気ジャッキ	小さな隙間に挟まれた救助対象者を救出するもので、従前の重装備に比べ軽量化になっている。
携帯用コンクリート破壊器具	油圧、空圧、空気式器具の使用できない現場での削岩破壊に使用する携帯器具である。
携帯用救助器具	救助作業は徒歩による移動が多いため必要な救助器具（オノ、金テコ、ショベル他）を携帯用に軽量化したもの。
救助用支柱器具	倒壊した建物等に閉じ込められた救助対象者を救助するために柱等支えるもので、空気を用いて遠隔操作で伸縮できる。

34 救助資機材

(令和6年4月1日現在)

分類	品名	分類	品名
一般救助用器具	かぎ付はし 三連はし 金属製折たたみはし ワイヤはし 空気式救助マツ 救命索発射銃 救助用縛 平担 ロ一 カ 滑	呼吸保護用器具	空気呼吸器（予備ボンベを含む。） 空気補充用ボンベ 酸素呼吸器（予備ボンベを含む。） 簡易呼吸器 防塵マスク 送排風機
		隊員保護用器具	革手袋 耐電手袋 安防全メガネ 携防塵警報器 防塵マスク 陽圧式化学防護服 耐熱放射線防護服（個人用線量計を含む。） 耐電衣 耐電ズボ 耐電長靴 防毒衣
重量物排除用器具	油圧ジャック 油圧スプレッダ 可搬ウイン ワイヤーロープ マンホール救助器具 救助用簡易起重機 マット型空気ジャッキ 大型油圧スプレッダ 救助用支柱器具	水難救助用器具	潜水器具一式 救命胴衣 水中投光器 救命浮環 救命ボート 救船外機
切断用器具	油圧切断機 エンジンカッタ ガス溶断器 チェーンソー 鉄線カッタ 空気鋸 大型油圧切断機 空気切断機	測定用器具	可燃性ガス測定器 有毒ガス測定器 酸素濃度測定器 放射線測定器 携帯型生物剤検知装置 携帯型化学剤検知機 化学剤検知紙
破壊用器具	万能マ ハシコンクリート破壊器具 携帯用コンクリート破壊器具 ハシマドリ	その他の救助用器具	投光器一式 携帯拡声器 携帯無線機 応急処置用セット その他の携帯用救助工具一式 緩降機 発電機
救助用器具	登山器具一式 バスケツト担架		

35 救助概況（前年との比較）

年 別 区 分			令和 5 年	令和 4 年	比 較 △ 減
出 動 件 数			3 4 1	2 7 2	6 9
事 故 種 別	火 災	建 物	7	4	3
		建 物 以 外	0	1	△ 1
	交 通		2 1	1 6	5
	水 難		5	3	2
	自 然 災 害		0	0	0
	機 械		2	1	1
	建 物		1 4 9	9 4	5 5
	ガス ・ 酸欠		1	0	1
	破 裂		0	0	0
	そ の 他		1 5 6	1 5 3	3
	活 動 件 数			2 2 3	1 4 6
救 助 人 員			2 0 6	1 3 9	6 7
1 ヶ 月 平 均 出 動 件 数			2 8 . 4	2 2 . 7	5 . 7

36 署別救助出動状況

(令和5年中)

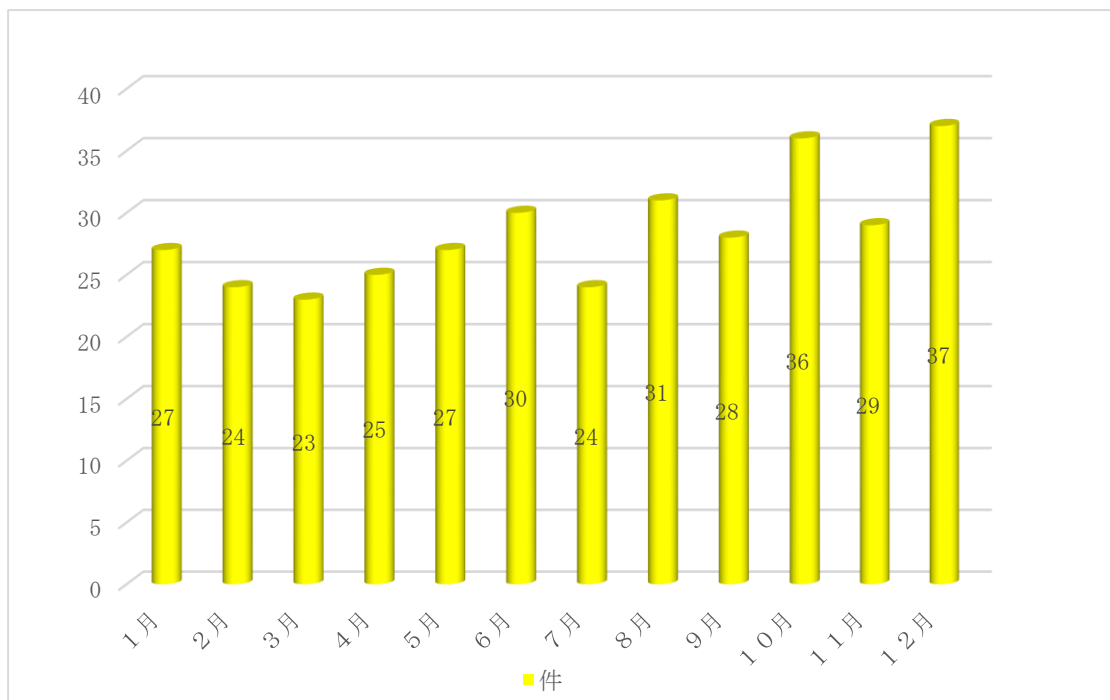
事故種別 区分		計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自然 災害 事故	機 械 事 故	建 物 事 故	ガス・ 酸欠 事故	破 裂 事 故	そ の 他
			建 物	建 物 以 外								
計	出動件数	341	7	0	21	5	0	2	149	1	0	156
	活動件数	223	7	0	20	5	0	2	147	1	0	41
	救助人員	206	6	0	20	5	0	3	148	1	0	23
	活動台数	303	12	0	32	9	0	6	179	1	0	64
	活動人員	1,162	50	0	117	34	0	23	696	4	0	238
中央 消防 署	出動件数	123	2		10				53	1		57
	活動件数	82	2		9				53	1		17
	救助人員	73	2		9				53	1		8
	活動台数	107	4		15				60	1		27
	活動人員	418	15		55				238	4		106
南 消 防 署	出動件数	81	1		5	4		1	35			35
	活動件数	49	1		5	4		1	34			4
	救助人員	49	1		5	4		1	35			3
	活動台数	66	1		8	7		3	42			5
	活動人員	248	4		30	25		12	157			20
西 消 防 署	出動件数	98	1		2			1	52			42
	活動件数	68	1		2			1	52			12
	救助人員	64	1		2			2	52			7
	活動台数	95	2		4			3	67			19
	活動人員	359	9		13			11	259			67
北 消 防 署	出動件数	30	3		2	1			9			15
	活動件数	21	3		2	1			8			7
	救助人員	17	2		2	1			8			4
	活動台数	31	5		2	2			10			12
	活動人員	122	22		7	9			42			42
東 消 防 署	出動件数	9			2							7
	活動件数	3			2							1
	救助人員	3			2							1
	活動台数	4			3							1
	活動人員	15			12							3

37 月別救助出動状況

(令和5年中)

区分 月別	出 動 件 数	事故の種類別										活 動 件 数	救 助 人 員
		火災		交 通	水 難	自 然 災 害	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他		
		建 物	建 物 以 外										
計	341	7	0	21	5	0	2	149	1	0	156	223	206
1月	27	1						11			15	16	13
2月	24			1	1			10			12	14	14
3月	23				1			9			13	10	10
4月	25			2				10			13	17	17
5月	27	1		1	1			13			11	17	17
6月	30			4			1	13			12	23	22
7月	24	1		3				11			9	17	17
8月	31			5			1	9			16	16	16
9月	28			2				18			8	21	19
10月	36							14			22	19	16
11月	29	1		2				14	1		11	22	18
12月	37	3		1	2			17			14	31	27

月別救助出動件数



38 発生場所別救助出動状況

(令和5年中)

事故種別 発生場所別			計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス ・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他
				建 物	建 物 以 外								
計			341 (223)	7 (7)	0 (0)	21 (20)	5 (5)	0 (0)	2 (2)	149 (147)	1 (1)	0 (0)	156 (41)
屋 内	住 居		245 (176)	6 (6)						148 (146)			91 (24)
	その他の屋内		7 (4)	1 (1)					1 (1)	1 (1)			4 (1)
屋 外	道 路	高速自動車国道	0 (0)										
		一般国道	38 (17)			16 (15)							22 (2)
	内 水 面		6 (5)				5 (5)						1 (0)
	外 水 面		0 (0)										
	山 岳		1 (1)										1 (1)
	その他の屋外		25 (18)			4 (4)			1 (1)		1 (1)		19 (12)
地 下			0 (0)										
そ の 他			19 (2)			1 (1)							18 (1)

※ () 内は活動件数

予 防 関 係



「歳末火災予防運動消防フェア」

39 防火対象物一覧

(令和6年4月1日現在)

署所別 用途		合 計	中央消防署				南消防署			西消防署			北消防署		東消防署			
			小 計	本 署	佐 保	南 部	小 計	本 署	西 大 寺	小 計	本 署	富 雄	小 計	本 署	小 計	本 署	東 部	月 ヶ 瀬
計		7,889	3,359	1,907	1,004	448	2,149	1,380	769	1,325	943	382	569	569	487	273	140	74
1	イ	8	7		7								1	1				
	ロ	191	54	20	16	18	40	29	11	41	28	13	20	20	36	9	16	11
2	イ	1	1	1														
	ロ	12	6	4	2		4	4		2		2						
	ハ	0																
	ニ	7	4	3	1		2	2		1	1							
3	イ	1	1	1														
	ロ	605	339	241	74	24	108	68	40	74	49	25	46	46	38	12	12	14
4		301	116	75	21	20	87	70	17	43	30	13	46	46	9	7		2
5	イ	178	150	102	40	8	16	10	6	2	1	1	1	1	9	5	4	
	ロ	2,725	923	478	370	75	1,002	587	415	561	437	124	227	227	12	12		
6	イ	(1)	10	2	2			8	5	3								
		(2)	2	1	1					1		1						
		(3)	16	5	3	1	1	4	3	1	5	4	1	2	2			
		(4)	116	34	25	7	2	22	10	12	40	31	9	18	18	2		2
	ロ	(1)	114	36	15	9	12	27	16	11	31	22	9	13	13	7	4	2
		(2)	1								1		1					
		(3)	0															
		(4)	7	1			1	1	1		2		2	2	2	1		1
		(5)	24	8	3		5	5	4	1	5		5	3	3	3	1	2
	ハ	(1)	67	18	7	5	6	20	17	3	20	15	5	7	7	2	1	
		(2)	0															
		(3)	72	21	11	4	6	19	10	9	21	18	3	8	8	3	1	1
		(4)	23	3	1	1	1	9	7	2	5	2	3	6	6			
		(5)	143	70	27	14	29	29	20	9	28	15	13	7	7	9	3	6
	ニ	25	8	5	3		8	6	2	9	7	2						
7		115	40	20	15	5	21	12	9	33	22	11	13	13	8	4	3	1
8		17	8	6	2		4	2	2	5	5							
9	イ	1					1	1										
	ロ	5	3	2	1		1	1							1			1

署所別 用途		合 計	中央消防署				南消防署			西消防署			北消防署		東消防署			
			小 計	本 署	佐 保	南 部	小 計	本 署	西 大 寺	小 計	本 署	富 雄	小 計	本 署	小 計	本 署	東 部	月 ヶ 瀬
10		5	1		1		1	1		1		1	2	2				
11		83	46	20	21	5	18	11	7	8	5	3	4	4	7	5	2	
12	イ	378	135	52	20	63	96	87	9	8	2	6	7	7	132	94	18	20
	ロ	1	1		1													
13	イ	54	42	28	12	2	7	7		4	3	1	1	1				
	ロ	2													2		2	
14		198	86	27	13	46	51	45	6	7	4	3	9	9	45	32	8	5
15		702	304	151	98	55	186	139	47	74	53	21	36	36	102	58	37	7
16	イ	1,176	632	434	166	32	225	137	88	220	143	77	62	62	37	19	12	6
	ロ	423	205	115	62	28	117	63	54	69	45	24	25	25	7	3	2	2
16 の 2		0																
16 の 3		0																
17		77	45	24	17	4	10	5	5	4	1	3	3	3	15	3	10	2
18		3	3	3														
19		0																
20		0																

40 用途別中高層建築物状況

(令和6年4月1日現在)

用途 \ 階数別		計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上
計		3,872	1,644	761	940	209	116	111	62	18	11
1	イ	1	1								
	ロ	18	12	2	4						
2	イ	1				1					
	ロ	5	3	1	1						
	ハ	0									
	ニ	4	3	1							
3	イ	0	0								
	ロ	43	29	6	3	1	2	2			
4		33	24	7	2						
5	イ	66	21	19	7	9	2	6		1	1
	ロ	1,981	705	269	717	83	61	79	49	12	6
6	イ	(1)	7	2	2		1	2			
		(2)	1		1						
		(3)	15	4	5		1				
		(4)	24	22	2						
	ロ	(1)	50	27	15	6	1		1		
		(2)	0								
		(3)	0								
		(4)	1		1						
		(5)	3	2	1						
	ハ	(1)	7	1	4	2					
		(2)	0								
		(3)	12	11	1						
		(4)	1	1							
		(5)	16	13	1	1	1				
	ニ	3	2	1							
7		198	121	59	10	5	1	1	1		
8		3	3								
9	イ	0									
	ロ	1	1								
10		1	1								
11		22	17	4		1					

階数別 用途		計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階
12	イ	64	51	10	3						
	ロ	1	1								
13	イ	16	10	3	3						
	ロ	0									
14		40	25	12	2	1					
15		300	152	74	38	26	8	1	1		
16	イ	672	261	196	100	57	30	15	7	2	4
	ロ	261	117	65	35	22	9	6	4	3	
16の2		0									
16の3		0									
17		1	1								
18		0									
19		0									
20		0									

41 消防同意処理状況

(令和5年中)

月別 区分	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
取扱件数	278	22	23	21	28	24	26	19	21	21	27	24	22
確認申請	213	15	19	15	24	22	19	14	21	14	19	14	17
許可申請	42	5		3	4	1	6	4		6	6	2	5
計画通知	23	2	4	3		1	1	1		1	2	8	

42 過去5ヵ年の建築同意処理件数状況

年別 区分	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年 (平成31年)
計	278	314	261	265	330
新 築	240	266	235	254	297
増 築	23	41	26	7	24
その他	15	7		4	9

43 消防法及び火災予防条例に基づく各種届出状況

(令和5年中)

区 分	月 別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
計		8,830	566	715	892	766	742	815	595	636	756	883	718	746
防火・防災管理者選任届		112	8	6	11	13	10	8	10	8	10	15	4	9
防火・防災管理者解任届		16		5	4	4		2		1				
防火・防災管理者選解任届		442	34	37	35	47	43	42	37	52	34	34	29	18
統括防火・防災管理者選任届		3				1		1						1
統括防火・防災管理者解任届														
統括防火・防災管理者選解任届		9			2	2		1				2		2
消防計画（防火・防災）作成		353	31	16	30	44	23	36	33	32	33	36	19	20
消防計画（防火・防災）変更届		252	20	33	19	19	37	22	17	26	19	16	12	12
全体についての消防計画（防火・防災）作成届		9			1	3		1				2		2
全体についての消防計画（防火・防災）変更届		4		1		2		1						
工事期間中における消防計画作成届														
自衛消防組織設置届		1											1	
自衛消防組織変更届		8		1		1		2	2			2		
自衛消防訓練通知書		1										1		
消防訓練等実施計画通知届		1,982	109	146	169	140	157	194	109	138	187	234	240	159
管理権原者変更届出書		4				2					1			1
管理権原者（防災）変更届出														
改善（計画）報告書		9	1	4	3					1				
表示マーク交付（更新）申請		11			1	2	2	3			2			1
見学通知書		6		1						1		1	2	1
消防法令適合通知書交付申請（興行場）		17			2		1	7			1	2	2	2
消防法令適合通知書交付申請（公衆浴場）		2		2										
消防法令適合通知書交付申請（旅館）		15	1		1				1	4	2	3	1	2
禁止行為の解除承認申請届		84	4	7	19	9	11	9	4	7	6	3	4	1
劇場等の客席特例適用申請書														
指定建造物工事等届		1									1			
指定建造物防災施設設置届														
核燃料物質等取扱届（新規・変更）														
ヒートポンプ冷暖房機設置届		4		1				1		2				
ボイラー設置届		10			4		1					3	1	1
乾燥設備設置届		15	1	3	3	1			1	1	2	1	1	1
給湯湯沸設備設置届		13		2	2	1	1	1	2		2	2		
温風暖房機設置届														
炉設置届		5			2			1	1			1		
厨房設備設置届														
サウナ設備設置届		4			1		2							1
蓄電池設備設置届		8	1	2	1			1		2			1	
発電設備設置届		23	1	5	2	2	1	2	1	2	3	1	3	
変電設備設置届		35	3	4	4	1	4	1	1	3	4	3	3	4

区 分	月 別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
急速充電設備設置届		2			1				1					
防火対象物使用開始届		392	21	44	47	26	34	26	29	31	35	36	31	32
防火対象物点検結果報告		300	24	33	29	25	26	29	19	17	24	27	19	28
防火対象物点検報告特例認定申請書		15	3		1		2	1	4		2			2
防災管理点検結果報告		15	1		1			3	1	1	3	4	1	
防災管理点検報告特例認定申請書														
消防用設備等設計届		124	12	7	13	10	11	15	6	7	6	16	6	15
消防用設備等設置届		660	34	84	111	52	66	37	48	36	47	51	57	37
消防用設備等着工届		279	41	36	25	23	16	18	13	18	20	25	19	25
消防用設備等点検結果報告届		3,083	187	213	281	286	275	307	201	221	268	308	209	327
消防用設備等特例申請書		47	2	4	5	5	3	5	6	2	6	3	4	2
意見書交付申請書														
共同防火管理協議事項変更届														
地下貯蔵タンク等在庫管理等に関する計画届														
完成検査前水張検査（他市設置）		59	7	1	5	6	2	5	6	2	3	5	11	6
軽微な変更届		65	5	5	10	7	2	5	3	4	7	6	5	6
完成検査申請（設置）		7	1	1	1				1		2			1
完成検査申請（変更）		28	1	2	1	3	1	1	2	4	1	2	9	1
危険物施設廃止届		7		1	1				1			2		2
設置許可申請		5				1			2			1	1	
変更許可申請（種類・数量・倍数・位置等）		36	2		1	3	1	1	5	2	4	9	5	3
危険物仮貯蔵・仮取扱申請（仮取扱）届		4		2	2									
危険物施設仮使用承認申請		32	2		1	3	1	1	5	2	3	7	4	3
危険物施設関係者住所氏名変更届		64	1	2	7	14	4	9	10	2	7	2	4	2
危険物施設使用休止・再開届（休止）		1									1			
危険物職務代行者選任解任届		19			9				5	2	1	2		
危険物保安監督者選任解任届		54			16	4	2	8	3	3	3	4	5	6
譲渡引渡届		1	1											
予防規程認可申請（制定・変更）		12	3	1	1	1				1	1		3	1
危険物取扱者選任解任届														
危険物品名・数量又は指定数量の倍数変更届		2	1					1						
圧縮アセチレンガス等貯蔵・取扱開始届		16	2		2	1	2	2	2			1		4
圧縮アセチレンガス等貯蔵・取扱廃止届		5		1	1							3		
指定可燃物・貯蔵取扱届出書		2			2									
指定可燃物・貯蔵取扱 廃止届出書														
少量危険物・貯蔵取扱届出書		15	1		1	1		1	2	1	2	3	1	2
少量危険物・貯蔵取扱廃止届出書		17		1	1	1	1	3			2	4	1	3
ミニローリー・貯蔵取扱届出書		2		1							1			
ミニローリー・貯蔵取扱廃止届出書		2						1	1					
危険物施設等災害発生日														

44 類別、数量別危険物施設数

(令和6年4月1日現在)

製造所等の別 区分			計	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				
					屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	一 般
施 設 数			452	7	85	27	15	114	0	47	6	94	1	0	56
数 量 別	5 倍以下		212	1	53	8	7	49		44	3	19			28
	5 倍をこえ 1 0 倍以下		87	1	18	8	7	29			1	6			17
	1 0 〃 5 0 〃		83	2	9	7	1	34		1	2	17	1		9
	5 0 〃 1 0 0 〃		23	1	1	4				2		13			2
	1 0 0 〃 1 5 0 〃		5	1	2							2			
	1 5 0 〃 2 0 0 〃		4	1								3			
	2 0 0 〃 1 0 0 0 〃		38		2			2				34			
類 別	単 独	第 1 類	2		2										
		第 2 類	0												
		第 3 類	0												
		第 4 類	443	6	78	27	15	114		47	6	94	1		55
		第 5 類	0												
		第 6 類	0												
	混 在		7	1	5										1

45 危険物施設数及び各種許認可処理状況

(令和5年中)

区分		計	製造所	貯 蔵 所						取 扱 所				
				屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	第一種 販売	第二種 販売	一 般
施設数 处理状況		452	7	85	27	15	114	0	47	6	94	1	0	56
計		231	17	23	13	59	19	0	3	4	77	0	0	16
各種 許 認 可 ・ 届 出 状 況	設 置 許 可	5		2			2		1					
	変 更 許 可	36	6	1	2		4			1	19			3
	完 成 検 査 （ 設 置 ）	7		3			2		1					1
	完 成 検 査 （ 変 更 ）	28	5	1	2		2				17			1
	仮 使 用	32	6	1	2		2			1	18			2
	水 圧 検 査	0												
	水 張 検 査	59				59								
	品名・数量・ 倍数変更届	2		2										
	譲渡引渡届	1									1			
	廃 止 届	7		2			2		1		1			1
保安監督者 選 解 任 届		54		11	7		5			2	21			8

46 奈良市所在の指定文化財等

(令和6年3月27日現在)

1 指定文化財 総数 978 件

【件数】

分類			国指定			県指定	市指定	総数
有形文化財	建造物 （ ）内は棟数		国宝 31 (35)	重要文化財 75 (130)	計 ※ 105 (165)	42 (81)	28 (33)	175 (279)
	美術工芸品	絵画	6	28	34	18	39	91
		彫刻	49	198	247	34	38	319
		工芸品	26	97	123	18	9	150
		書跡・典籍	4	61	65	6	4	75
		古文書	1	25	26	5		31
		考古資料	4	6	10	1	7	18
		歴史資料		5	5	5	5	15
	小計		国宝 121	重要文化財 495	計 ※ 615	小計 129	小計 130	小計 874
無形文化財		重要無形文化財			1		1	
民俗文化財	有形民俗文化財	重要有形民俗文化財 2			2	7	11	
	無形民俗文化財	重要無形民俗文化財 3			10	3	16	
記念物	史跡	特別史跡 2	史跡 25	計 27	5	8	40	
	名勝	特別名勝 2	名勝 6	計 8	1	2	11	
	天然記念物	特別天然記念物 1	天然記念物 5	計 6	6	13	25	
	小計	特史名天 5	史名天 36	計 41	小計 12	小計 23	小計 76	
総数		661			154	163	978	

※ 有形文化財（建造物）の国指定の合計件数が国宝と重要文化財の件数の和より少ないのは、1件に国宝と重要文化財の両方を含むものがあるためです。

※ ほかに独立行政法人国立文化財機構（住所東京都）が所有し奈良国立博物館及び奈良文化財研究所が保管する国宝 14 件（絵画 4、彫刻 1、工芸品 3、書籍・典籍 3、古文書 3）と重要文化財 119 件（絵画 44、彫刻 16、工芸品 17、書跡・典籍 18、古文書 12、考古資料 11、歴史資料 1）があります。

2 旧村指定文化財 総数 72 件（旧月ヶ瀬村指定文化財 30 件、旧都祁村指定文化財 42 件）

※ 国選定保存技術、県指定文化財、市指定文化財と重複している 12 件を除いています。

3 登録有形文化財 総数 123 件

- ・ 建造物 121 件（42 箇所）
- ・ 書跡・典籍 1 件
- ・ 歴史資料 1 件

4 選定保存技術 総数 2 件（国指定 2 件、県指定 0 件）

47 火災予防広報等活動状況

(令和5年中)

区 分 月 別	防 火 訓 練 等		電 話 パ ト ロ ー ル	広 報 活 動	消防庁舎施設見学		防 火 訪 問
	回 数	参 加 人 員			回 数	参 加 人 員	ひ ー と り 般 家 暮 ら し 庭
計	68	4,320	125	831	17	798	4,088
1	7	254		90	1	80	
2	3	113	10	50	3	101	
3	6	302	28	114	1	35	
4	1	40		21			
5	1	10	14	34			
6	3	60	27	20			
7	3	127		78			
8	1	15		89			
9	13	589		41			
10	10	636	12	8	4	137	548
11	15	1,685	34	93	7	405	1,606
12	5	489		193	1	40	1,934

48 女性防災クラブ・幼年消防クラブの現状

(1) 女性防災クラブ

(令和6年4月1日現在)

番号	クラブ名	クラブ員数	結成年月日
1	鶴 舞 地 区	51	S46. 11. 30
2	大 柳 生 地 区	57	S49. 7. 19
3	狭 川 地 区	9	S49. 8. 6
4	精 華 地 区	24	S50. 3. 16
5	鳥 見 地 区	88	H 8. 6. 13
6	朱 雀 地 区	50	H 9. 2. 22
7	左 京 地 区	61	H 9. 11. 18
8	明 治 地 区	70	H10. 3. 28
9	済 美 地 区	51	H10. 8. 21
10	済 美 南 地 区	72	H11. 9. 23
11	鼓 阪 地 区	69	H11. 11. 23
12	飛 鳥 地 区	75	H12. 4. 16
13	椿 井 地 区	63	H12. 4. 26
14	帯 解 地 区	85	H13. 5. 20
15	都 祁 地 区	60	H18. 10. 22
16	東 市	78	H21. 3. 8
17	伏 見 地 区	18	H26. 3. 16
18	平 城 地 区	76	H27. 3. 12
19	青 山 地 区	9	H29. 3. 4
20	奈 良 帝 塚 山 地 区	22	H29. 3. 11
21	富 雄 南 地 区	45	H30. 3. 4
22	西 大 寺 北 地 区	休止中	H31. 2. 22
23	平 城 西 地 区	26	R 2. 3. 18
計		1, 159	



「奈良市女性防災クラブ連合会防火・防災研修会」

(2) 幼年消防クラブ

(令和6年4月1日現在)

名 称		クラブ員数	結成年月日	所 在 地
計		157		
1	佐保山こども園	27	S62. 6. 11	奈良市法蓮町 1368 番地
2	みずほ保育園	14	H 5. 6. 30	奈良市北登美ヶ丘六丁目 28 番地の 10
3	あいのそのこども園	18	H10. 10. 2	奈良市法蓮町 986 番地の 73
4	中登美こども園	44	H10. 10. 2	奈良市中登美ヶ丘一丁目 4162 番地
5	桜華保育園	25	H22. 11. 9	奈良市二名一丁目 2361 番地の 3
6	佐保川こども園	29	H22. 11. 9	奈良市法蓮町 393 番地

(3) 奈良市ジュニア防災クラブ

(令和6年4月1日現在)

名 称	クラブ員数	結成年月日
奈良市ジュニア防災クラブ	32	令和元年 11 月 9 日



「幼年消防クラブ結成のつどい」

火 災 統 計



「文化財防火週間に伴う消防合同訓練」

49 火災概要

令和5年中に発生した火災件数は75件で、前年（77件）より2件減少しました。

- （1）火災種別では、建物火災39件、林野火災5件、車両火災8件、船舶火災0件、航空機火災0件、その他の火災23件となっており、前年と比較すると建物火災2件の減少、林野火災1件の増加、車両火災2件の増加、船舶火災増減なし、航空機火災増減なし、その他の火災3件の減少となっています。

出火原因別では、上位から火入れ13件（約17.3%）、電灯・電話等の配線7件（約9.3%）、たばこ6件（8%）となっています。

- （2）建物焼損床面積は1,686㎡で、前年（905㎡）より781㎡増加しました。

建物焼損表面積は61㎡で、前年（89㎡）より28㎡減少しました。

林野焼損面積は41aで、前年（12a）より29a増加しました。

- （3）死傷者の内、死者は4名で前年（6名）より2名減少し、負傷者は14名で前年（0名）より14名増加しました。

- （4）損害額は104,808千円で、前年（122,767千円）より17,959千円減少しました。

- （5）出火率（人口1万人当たりの出火件数）は、2.1で前年（2.2）より0.1ポイント減少となりました。

- （6）月別火災発生状況は、火災の多い月は12月が13件で最も多く、次いで1・3・5月の各9件で、少ない月は10月の2件でした。

- （7）建物火災の発生状況については、用途別にみると専用住宅9件、併用住宅5件、共同住宅16件と住宅からの出火が建物火災全体の約76.9%を占めています。

建物火災の主な出火原因では、上位から電灯・電話等の配線6件（約15.4%）、こんろ・配線器具各5件（各約12.8%）、ストーブ3件（約7.7%）となっています。

50 火災概況（前年との比較）

年別 区分		令和5年	令和4年	比較 △ 減
出火件数	合 計	75	77	△ 2
	建 物	39	41	△ 2
	林 野	5	4	1
	車 両	8	6	2
	船 舶	0	0	0
	航 空 機	0	0	0
	そ の 他	23	26	△ 3
焼損棟数	合 計	46	48	△ 2
	全 焼	7	6	1
	半 焼	8	4	4
	部 分 焼	15	10	5
	ぼ や	16	28	△ 12
焼損面積	建物焼損床面積（㎡）	1,686	905	781
	建物焼損表面積（㎡）	61	89	△ 28
	林野焼損面積（a）	41	12	29
り災世帯数	合 計	42	37	5
	全 損	8	11	△ 3
	半 損	5	1	4
	小 損	29	25	4
り災人員	合 計	96	79	17
	全 損	16	19	△ 3
	半 損	11	3	8
	小 損	69	57	12
死傷者	死 者	4	6	△ 2
	負 傷 者	14	5	9
損害額	合 計（千円）	104,808	122,767	△ 17,959
	建 物	100,480	120,537	△ 20,057
	爆 発	0	0	0
	林 野	0	0	0
	車 両	4,039	1,413	2,626
	船 舶	0	0	0
	航 空 機	0	0	0
	そ の 他	289	817	△ 528
出火率（件） （人口1万人当たり）		2.1	2.2	△ 0.1

※ 林野焼損面積（a）は1a未満は四捨五入にて算出、以下同様

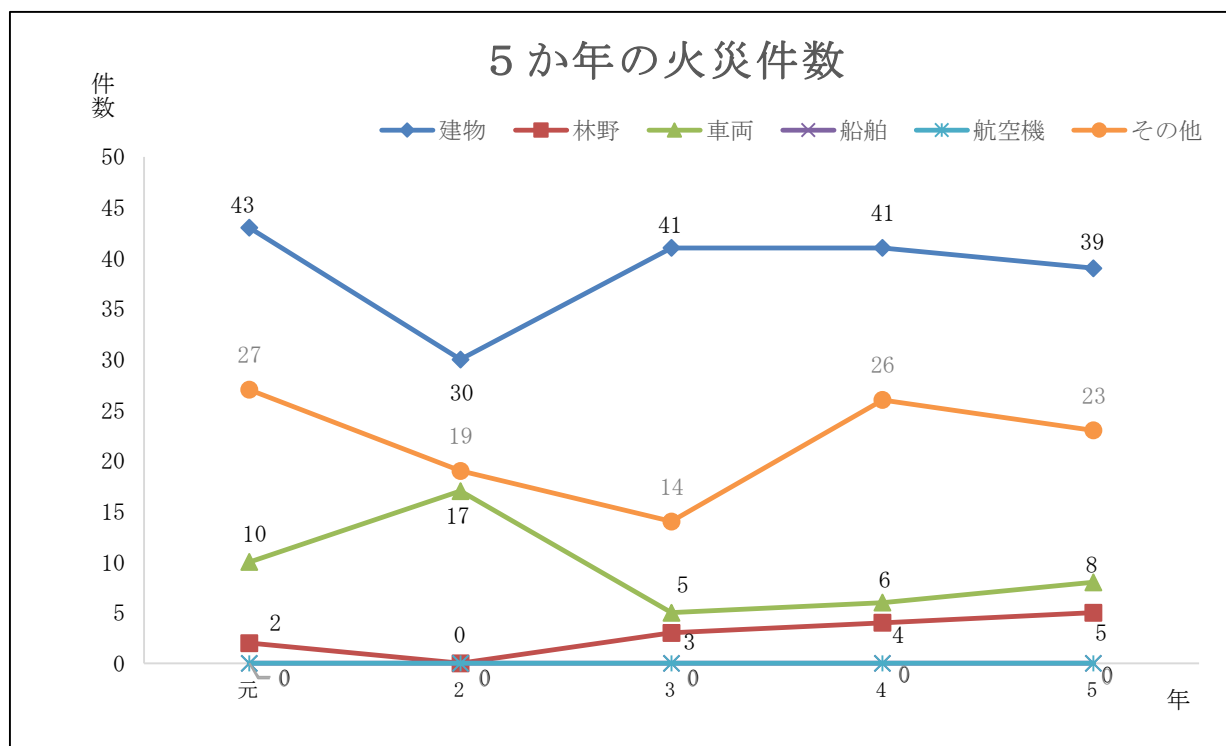
51 署別火災概況

(令和5年中)

署別 区分		総計	中央消防署	南消防署	西消防署	北消防署	東消防署
出火件数	合 計	75	26	19	8	9	13
	建 物	39	16	12	4	6	1
	林 野	5					5
	車 両	8	6	1		1	
	船 舶	0					
	航 空 機	0					
	そ の 他	23	4	6	4	2	7
焼損棟数	合 計	46	21	12	5	6	2
	全 焼	7	5		1		1
	半 焼	8	3	3	1	1	
	部 分 焼	15	5	4	2	3	1
	ぼ や	16	8	5	1	2	
焼損面積	建物焼損床面積 (㎡)	1,686	950	269	155	203	109
	建物焼損表面積 (㎡)	61	25	1			35
	林野焼損面積 (a)	41					41
り災世帯数	合 計	42	20	8	2	10	2
	全 損	8	4	2		1	1
	半 損	5	3	1	1		
	小 損	29	13	5	1	9	1
り災人員	合 計	96	47	17	4	18	10
	全 損	16	8	2		1	5
	半 損	11	7	1	3		
	小 損	69	32	14	1	17	5
死傷者	死 者	4	2	1	1		
	負 傷 者	14	6	4	1	1	2
損害額	合 計 (千円)	104,808	56,797	25,749	3,272	17,815	1,175
	建 物	100,480	52,802	25,609	3,272	17,718	1,079
	爆 発	0					
	林 野	0					
	車 両	4,039	3,993	45		1	
	船 舶	0					
	航 空 機	0					
	そ の 他	289	2	95		96	96

52 過去5か年の火災状況

区分 年別	出火件数							焼損棟数	り災世帯数	り災人員	焼損面積			死傷者		損害額 (千円)
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他				建物		林野	死者	負傷者	
											床面積 (㎡)	表面積 (㎡)	面積 (a)			
令和5年	75	39	5	8	0	0	23	46	42	96	1,686	61	41	4	14	104,808
令和4年	77	41	4	6	0	0	26	48	37	79	905	89	12	6	5	122,767
令和3年	63	41	3	5	0	0	14	63	44	108	955	227	37	0	13	79,181
令和2年	66	30	0	17	0	0	19	44	30	50	1,174	541	0	3	11	229,851
令和元年	82	43	2	10	0	0	27	67	52	112	1,255	191	13	0	9	152,013



(令和5年中)

53 校区別火災状況

校区別	区分	出火件数						焼損棟数	り災世帯数	り災人員	焼損面積			死傷者		損害額 (千円)	
		合計	建物	林野	車両	船舶	航空機				その他	建物		林野	死者		負傷者
												床面積 (㎡)	表面積 (㎡)	面積 (a)			
総計		75	39	5	8	0	0	23	46	42	96	1,686	61	41	4	14	104,808
椿井		0															
飛鳥		2			1			1									
鼓阪		4	3		1				6	5	13	411				2	7,561
済美		5	4		1				4	4	15	9				1	1,305
佐保		2	2						3	4	7	176			2		24,227
大宮		2	1					1	1	4	9	80				2	7,784
都跡		8	4		1			3	4	1	2	135				2	10,724
大安寺		0															
東市		2			1			1									755
平城		3	2		1				2	1	5	156					8,130
辰市		4	3					1	3	3	5	105				1	13,449
明治		2	2						2	1	1	66	25				6,073
帯解		3	2		1				3			206					7,853
伏見		5	4					1	4	3	5	29	1		1	1	1,576
富雄南		2	1					1	2			90					
富雄北		2	1					1	1	1	3	45					1,193
田原		2	1					1	2	2	10	109	35				1,079
柳生		2		1				1						17			
興東		4		2				2						15		2	96
あやめ池		0															
鶴舞		1						1								1	
鳥見		0															
登美ヶ丘		1	1						1	1	1	20			1		2,079
六条		0															
青和		1						1									
東登美ヶ丘		1	1						1	1	2						1
二名		1	1						1								
西大寺北		0															
富雄第三		0															
平城西		1						1									91
大安寺西		1	1						1	1	5						
三碓		0															
ならやま		3	3						3	8	11	47				1	9,588
朱雀		1						1									5
済美南		2	2						2	2	2	2				1	2
鼓阪北		0															
伏見南		0															
佐保台		0															
佐保川		3			1			2									1,237
左京		0															
月ヶ瀬		0															
都祁		5		2				3						9			

※ 平成29年4月1日以降、精華校区は帯解校区に、並松、吐山及び六郷校区は都祁校区に、右京小学校及び神功小学校はならやま小学校区に統合。

54 気象別火災状況

(1) 風速別

(令和5年中)

火災種別 \ 風速 (m/s)	合計	0.0以上 1.0未満	1.0以上 2.0未満	2.0以上 3.0未満	3.0以上 4.0未満	4.0以上 5.0未満	5.0以上 6.0未満	6.0以上
合計	75	3	13	19	12	12	8	8
建物	39	2	7	10	3	6	7	4
林野	5			1	2	2		
車両	8		2	2	2	2		
船舶	0							
航空機	0							
その他	23	1	4	6	5	2	1	4

(2) 湿度別

(令和5年中)

火災種別 \ 湿度(%)	合計	40未満	40以上 50未満	50以上 60未満	60以上 70未満	70以上 80未満	80以上 90未満	90以上
合計	75	9	12	13	15	8	8	10
建物	39	3	4	6	10	3	6	7
林野	5	1		3	1			
車両	8		2	1	3	1	1	
船舶	0							
航空機	0							
その他	23	5	6	3	1	4	1	3

55 覚知方法別火災状況

(令和5年中)

火災種別 \ 覚知方法別	合計	火災報知 専用電話	加入電話	警察電話	駆け付け 通報	事後聞知	その他
合計	75	60	3	1	0	9	2
建物	39	32	2			5	
林野	5	5					
車両	8	7		1			
船舶	0						
航空機	0						
その他	23	16	1			4	2

56 曜日別火災状況

(令和5年中)

火災種別 \ 曜日別	合計	日	月	火	水	木	金	土
合計	75	11	11	14	11	10	6	12
建物	39	6	6	8	5	4	3	7
林野	5	1		1		1		2
車両	8	2		2	3		1	
船舶	0							
航空機	0							
その他	23	2	5	3	3	5	2	3

57 覚知時間別火災状況

(令和5年中)

火災種別 時間別	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
合計	75	39	5	8	0	0	23
0時 ～ 1時	1	1					
1時 ～ 2時	5	3		2			
2時 ～ 3時	0						
3時 ～ 4時	0						
4時 ～ 5時	0						
5時 ～ 6時	1	1					
6時 ～ 7時	1						1
7時 ～ 8時	3	2					1
8時 ～ 9時	3	2		1			
9時 ～ 10時	3	1		1			1
10時 ～ 11時	4	1	1				2
11時 ～ 12時	7	2					5
12時 ～ 13時	4		2				2
13時 ～ 14時	4	3					1
14時 ～ 15時	5	2					3
15時 ～ 16時	10	6		1			3
16時 ～ 17時	5	1	2				2
17時 ～ 18時	4	3		1			
18時 ～ 19時	4	1		2			1
19時 ～ 20時	3	3					
20時 ～ 21時	2	2					
21時 ～ 22時	3	3					
22時 ～ 23時	1	1					
23時 ～ 24時	2	1					1

※ 0時～1時は0時を含め1時は含まない、以下同様

区分 月別	出火件数							焼損棟数					り災世帯数				り災人員	死傷者		焼損面積			火災別損害額（千円）									
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損		死者	負傷者	建物		林野（a）	計	建物	爆発	林野	車両	船舶	航空機	その他		
																				床面積（㎡）	表面積（㎡）											
1月	9	5	1				3	5			4	1	10	1	1	8	18		3	124		5	14,377	14,377								
2月	5	2		1			2	0					2			2	6			4			778	680			98					
3月	9	3	2				4	8	2	2	2	2	1			1	2		1	12		7	95	95								
4月	6	2	2	1			1	0					1			1	4		1	34		29	9,676	9,675			1					
5月	9	6		2			1	16	4	4	4	4	4	2		2	13	1		430	35		10,735	10,690			45					
6月	4	2		1			1	0					1			1	3			146			8,546	7,309			1,235			2		
7月	4	1					3	8	2	2	2	2	3	1	1	1	4	2		176			24,417	24,226						191		
8月	6	2					4	0					0					1					97	1						96		
9月	4	1		2			1	0					1		1		1		1	60			2,413	508			1,905					
10月	2						2	0					0					1					0									
11月	4	4						8	2	2	2	2	6	2		4	15		2	262			10,311	10,311								
12月	13	11		1			1	8	2	2	2	2	13	2	2	9	30	1	4	438	26		23,363	22,608			755					
計	75	39	5	8	0	0	23	53	12	12	16	13	42	8	5	29	96	4	14	1,686	61	41	104,808	100,480	0	0	4,039	0	0	289		
昨年計	77	41	4	6	0	0	26	48	8	33	2	5	37	11	1	25	79	6	5	905	89	12	122,767	120,537	0	0	1,413	0	0	817		
比較 △減	△ 2	△ 2	1	2	0	0	△ 3	5	4	△ 21	14	8	5	△ 3	4	4	17	△ 2	9	781	△ 28	29	△ 17,959	△ 20,057	0	0	2,626	0	0	△ 528		

59 用途別・原因別火災状況

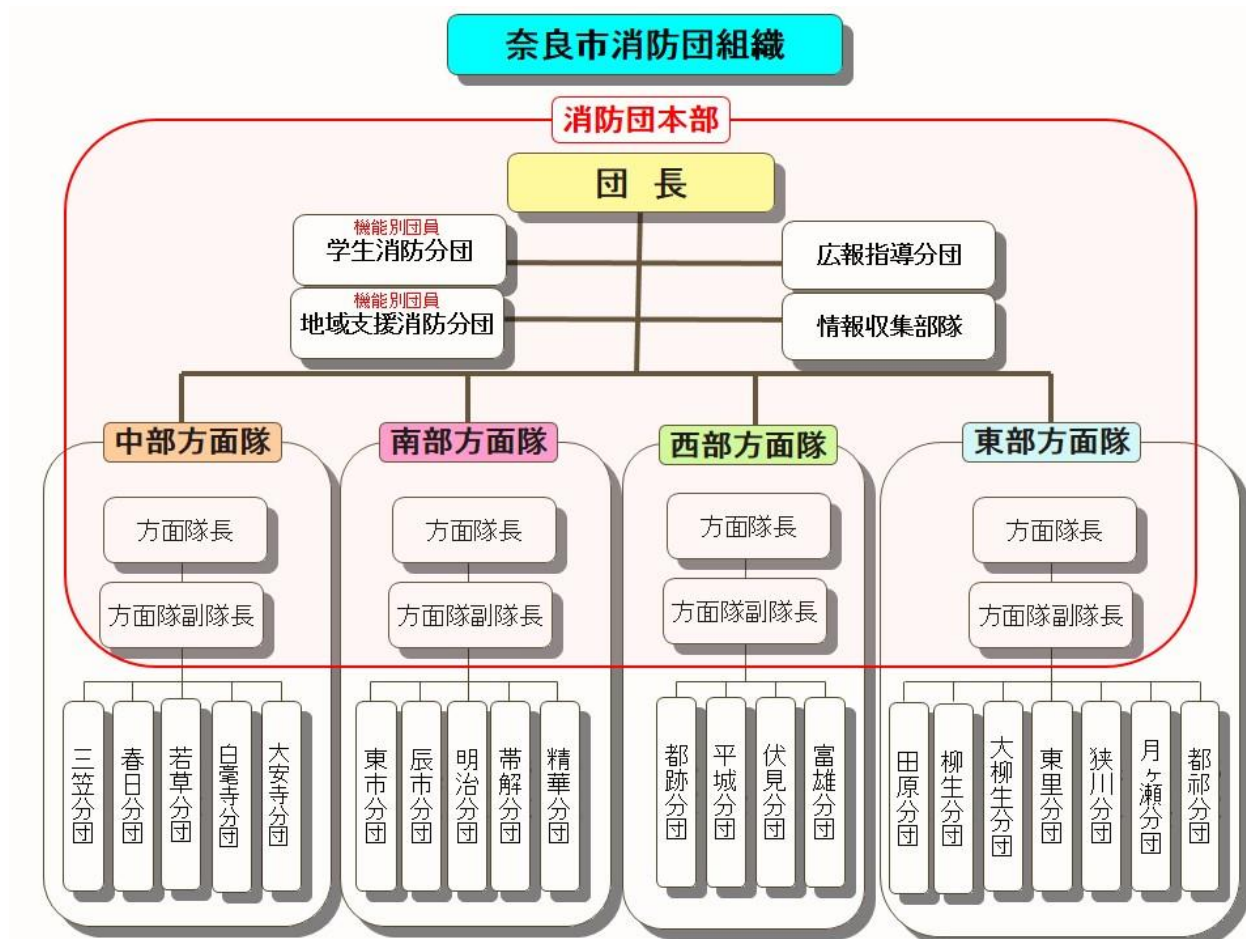
(令和5年中)

火災種別	原因別 用途別	原因別																												
		合計	たばこ	ろうそく	かまど	風呂	炉	焼却	ストーブ	こたつ	ポット・イラ	煙突・煙道	排気管	電気機器	電気装置	電灯・電話等の配線	内燃機	配線器具	火あそび	マッチ・ライター	たき火	溶接機・切断機	灯	衝突	取り入り	火入れ	放火の疑い	放火の他	不明・調査中	
	合計	75	6	5	0	1	0	0	3	0	0	0	2	3	1	7	0	5	0	2	0	0	1	1	0	13	1	2	16	6
建物	小計	39	2	5	0	1	0	0	3	0	0	0	0	1	1	6	0	5	0	1	0	0	1	0	0	1	1	2	6	3
	専用住宅	9				1										5												1		2
	併用住宅	5		1																							1		3	
	共同住宅	16	1	4					2					1		1		3		1								1	1	1
	劇場等	0																												
	公会堂等	0																												
	キャバレー等	0																												
	遊技場等	0																												
	風俗営業	0																												
	カラオケボックス等	0																												
	料理店等	0																												
	飲食店	1																												1
	物品販売店舗等	1																												1
	旅館等	1							1																					
	病院等	0																												
	グループホーム等	0																												
	社会福祉施設等	0																												
	幼稚園等	0																												
	小学校等	2																	2											
	図書館等	0																												
	公衆浴場	0																												
	特殊浴場	0																												
	停車場等	0																												
	神社・寺院等	0																												
	工場等	1														1														
	映画スタジオ等	0																												
	駐車場等	0																												
	航空機等格納庫	0																												
	倉庫	0																												
	事務所等	2	1																										1	
	複合用途（特定）	0																												
	複合用途（非特定）	0																												
	地下街	0																												
	準地下街	0																												
	重要文化財等	1																					1							
	アーケード	0																												
	山林	0																												
	総務省令で定める舟車	0																												
林野火災		5																								5				
車両火災		8										1	1																5	1
船舶火災		0																												
航空機火災		0																												
その他		23	4										1	1		1				1				1		7			5	2

消 防 団 関 係



「東部方面隊 資機材訓練開始報告」

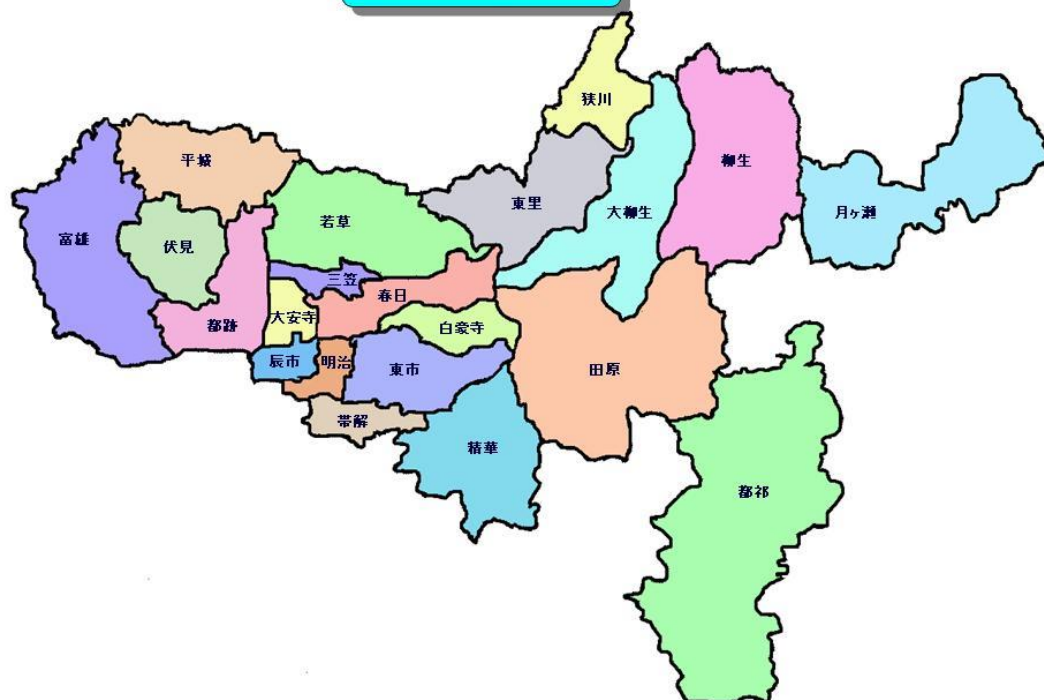


「消防操法大会表彰状授与式」

方面隊別管轄図



分団別管轄図



61 消防団員の階級別定員数

消 防 団 員 の 配 置 編 成

(単位 人)

階級別 分団別	団長	方面 隊長	方面隊 副隊長	分団 長	副分 団長	部長	班長	団員	合計
消防団本部	消防団本部	1	4	9					14
	広報指導分団				1	1	2	2	34
	学生消防分団								30
	地域支援消防分団								200
	情報収集部隊		部隊長(1) 副部隊長(1)	小隊長(2)	副小隊長(2) 隊員(6)				(12)
中部 方面 隊	三 笠 分 団				1	1	2	3	13
	春 日 分 団				1	1	2	3	13
	若 草 分 団				1	1	2	3	20
	白 毫 寺 分 団				1	1		1	7
	大 安 寺 分 団				1	1	2	3	18
南部 方面 隊	東 市 分 団				1	1	2	3	23
	辰 市 分 団				1	1	2	3	23
	明 治 分 団				1	1	2	3	23
	帯 解 分 団				1	1	2	3	23
	精 華 分 団				1	1	2	3	33
西部 方面 隊	都 跡 分 団				1	1	3	5	20
	平 城 分 団				1	1	2	3	23
	伏 見 分 団				1	1	2	3	23
	富 雄 分 団				1	2	5	6	46
東部 方面 隊	田 原 分 団				1	2	5	5	88
	柳 生 分 団				1	2	6	6	66
	大 柳 生 分 団				1	2	5	5	54
	東 里 分 団				1	1	2	2	36
	狭 川 分 団				1	1	2	2	31
	月ヶ瀬分団				1	2	5	5	55
	都 祁 分 団				1	3	11	11	112
計		1	4	9	22	29	68	83	1,014
									1,230

※ 括弧内は、消防団員から任命される情報収集部隊の部隊長、副部隊長、小隊長、副小隊長及び隊員の人数を内数で示す。

62 消防団員の新任状況

(令和6年4月1日現在)

階 級	新 任 団員数	新 任 団 員 数 の う ち								新任団員 数のうち 41 歳以上 の再入団 員数
		21 歳未満	21 歳以上	26 歳以上	31 歳以上	36 歳以上	41 歳以上	46 歳以上	51 歳以上	
			25 歳以下	30 歳以下	35 歳以下	40 歳以下	45 歳以下	50 歳以下		
団 員	100	7	3	3	9	13	12	15	38	45
班 長										
部 長										
副分団長										
分 団 長										
副 団 長										
団 長										
合 計	100	7	3	3	9	13	12	15	38	45

63 消防団員の退職状況

(令和6年3月31日現在)

階 級	退職消防 団 員 数	退 職 消 防 団 員 数 の う ち						
		在 職 年 数						
		5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団 員	34	10	11	4	6	3		
班 長	7				4	2	1	
部 長	19			4	10	3	2	
副分団長	4					2	2	
分 団 長	3					2		1
副 団 長	2						1	1
団 長								
合 計	69	10	11	8	20	12	6	2

退 職 事 由								
自己都合	定年など	傷	病		死	亡		整理統合
			公 務	そ の 他		公 務	そ の 他	
68	—	—			1		1	—

64 在職年数別消防団員数

(令和6年4月1日現在)

在職年数		5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団員数	985	202	213	200	210	100	41	19

65 消防団員の職業状況

(令和6年4月1日現在)

職 業 構 成																			
農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	水 道 業	電 気・ガ ス熱 供給・ 業	運 輸 通 信 業	卸 売・ 小 売 業	飲 食 店	金 融 業	保 険 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	公務(他に分類されな いもの)			分類不能の産業	そ の 他
															国家公務員	地方公務員	に準ずる職員 特殊法人等公務員		
56	4	0	2	123	164	38	56	103	32	11	185	2	62	40	5	102			



「東部方面隊 規律訓練」

66 消防団員の表彰状況

(令和5年度中)

階級別 表彰別	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
長官永年勤続功労章			1					1
日本消防協会功績章		1						1
日本消防協会精績章			2					2
日本消防協会勤続章			2		2		2	6
県知事表彰			3	1	4	2	1	11
奈良県消防大会知事表彰	1							1
県消防協会長表彰				2	6	6	1	15
奈良県消防大会協会長表彰			1					1
奈良市支部長表彰						2	35	37
奈良市功労者表彰			3		5	2	2	12
奈良市有功者表彰			4	1				5
奈良市長表彰			1		2	8	19	30
合 計	1	1	17	4	19	20	60	122



「小学校における消防団についての授業」

67 消防団員の出動状況

(令和5年度中)

計 (人員)	出 動 別					
	災害出動	人命捜索 出 動	警戒出動	訓練出動	機械器具 点検出動	そ の 他 出 動
	552	0	544	1,467	1,675	4,594

68 消防団機械器具等配備状況

(令和6年4月1日現在)

区 分 分 団 別		防 災 学 習 車	防 災 活 動 車	救 助 資 器 材 搭 載 型 車 両	消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ	積 載 車	機 械 器 具			
								無 人 飛 空 機 (ド ロ ー ン)	簡 易 デ ジ タ ル 無 線 機	背 負 式 消 火 水 の う	布 水 槽
計		1	1	1	1	107	95	2	209	162	101
消 防 団 本 部		1	1	1		1		2	13		
中 部 方 面 隊	三 笠					2	1		6		2
	春 日					4	1		7		1
	若 草					1	1		6		1
	白 毫 寺					1	1		4		1
	大 安 寺					2	2		6	4	2
南 部 方 面 隊	東 市					9	9		10		2
	辰 市					4	2		6	2	2
	明 治					6	6		5		3
	帯 解					7	7		7		7
	精 華					4	4		6	7	4
西 部 方 面 隊	都 跡					1	1		6		1
	平 城					3	3		8	11	4
	伏 見					1	1		6		1
	富 雄					4	4		12		4
東 部 方 面 隊	田 原				1	15	13		16	36	18
	柳 生					6	6		15	21	9
	大 柳 生					7	6		15	27	6
	東 里					8	6		14	15	11
	狭 川					3	3		10	8	4
	月 ケ 瀬					7	7		13	11	7
	都 祁					11	11		18	20	11

69 消防団員の報酬

階 級	職 名	報酬年額（円）
団 長	団 長	350,000
副 団 長	方 面 隊 長	270,000
分 団 長	方面隊副隊長	160,000
	分 団 長	145,000
副分団長	副 分 団 長	88,000
部 長	部 長	65,000
班 長	班 長	55,000
団 員	団 員	50,000

出 動 種 別	1日あたりの出動報酬額（円）
災 害	8,000
人 命 捜 索	8,000
警 戒	6,000
訓 練	5,000
機械器具点検	4,000
そ の 他	4,000

※ 1日の出動時間が4時間未満のときの出動報酬額は、1日当たりの出動報酬額に2分の1を乗じて得た額とする。



「第30回消防操法大会 小型ポンプの部」

裏表紙イラスト：中谷 有香さん

中谷 有香（なかに ゆか）さんプロフィール

奈良市在住。紙芝居作家。

奈良を中心に創作紙芝居や奈良市の昔話を人々に伝える活動をしている。

「**住**宅用火災**警報器**」の設置は消防法の改正により義務化されています。

～ 住警器！ 設置のつぎは 維持・管理 ～



リニア新駅を奈良市に

奈良市八条五丁目404番地の1
奈良市消防局 総務課

TEL 0742-35-1199

FAX 0742-33-8436

E-mail shoubou-soumu@city.nara.lg.jp